課　　長	係　　長	検　　算	設　　計

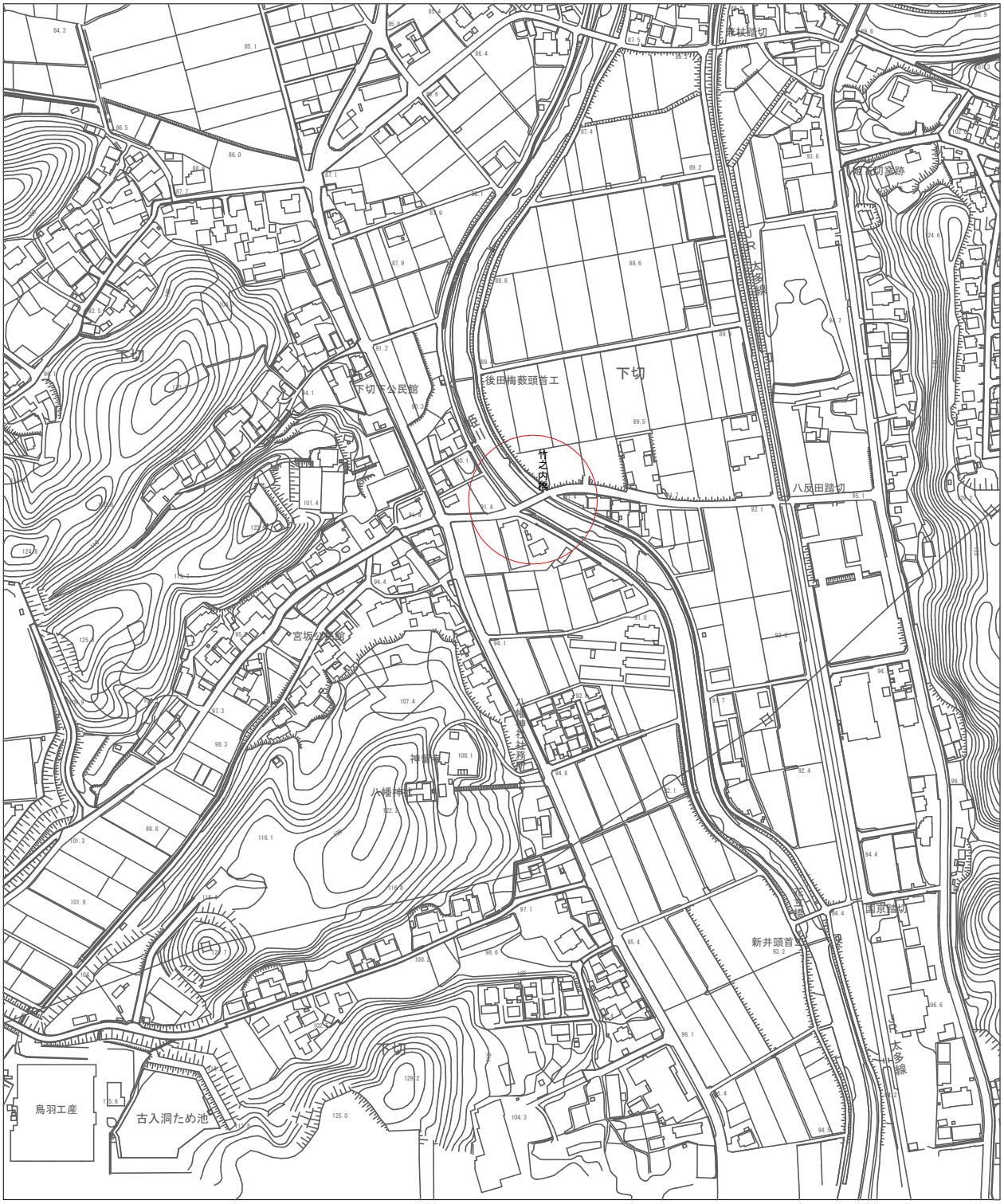
事業年度	平成　29　年度
事業種別	補助
工事番号	橋長工-1

工事名　　平成 29 年度　竹之内橋補修工事

可児市建設部土木課

位置図

◯ ： 施工箇所


下切
下切市公民館
後田梅藪頭首工
下切
竹之内踏切
八反田踏切
宮坂公民館
八幡神社
神輿庫
新井頭首工
鳥羽工産
古入洞ため池
太多線

件　　名	平成 29 年度　竹之内橋補修工事		
施工場所	可児市　　下切　　地内		
金　　額	円	内消費税相当額	円

理　　由

平成 24 年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、経年劣化や排水上の問題がある竹之内橋について、補修工事を行いたい。

概　　要

舗装打換え工	A=156m2
橋面防水工	A=156m2
伸縮装置取替工	N=1 式
水切り設置工	L=53m
断面修復工	N=1 式
ひび割れ補修工	N=1 式
塗替塗装工	A=260m2
足場工	A=175 ㎡
付帯工	N=1 式
交通規制工	N=1 式

特　記　仕　様　書

1．一般事項

（1）受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。

（2）受注者は、本工事が「可児市工事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。

（3）受注者は、受注時、変更時、完成時の各時点において工事請負代金額が500 万円以上の工事について、工事実績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を提出し監督員の確認を受けた後に、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、完了時は完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金500万円未満に変更する場合には変更時登録を行うものとする。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。

（4）提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、所定の様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。

（５）本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成 17 年法律第 51 条）」に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成 3 年 10 月 8 日付建設省経機発第 249 号、最終改定平成 22 年 3 月 18 日付け国総施第 291 号）」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定（平成 18 年 3 月 17 日付け国土交通省告示第 348 号）」もしくは「第３次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成 18 年 3 月 17 日付け国総施第 215 号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械（以下「排出ガス対策型建設機械等」という。）を使用しなければならない。

排出ガス対策型建設機械等を使用できないことを監督員が認めた場合は、平成７年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発技術の技術審査・証明事業もしくは、建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することができるが、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

機　　種	備　　考
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタシャベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうちベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの：油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機） ・ローラ類 （ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ） ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力７．５ｋｗ以上２６０ｋｗ以下）を搭載した建設機械に限る。
・オフロード法の基準適合表示が付されているもの又は特定特殊自動車確認証の交付を受けているもの ・排出ガス対策型建設機械として指定を受けたもの	

２．産業廃棄物の適正処理について

（１）受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。

（２）建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。ただし、建設発生土が 100m3 未満の場合はこの限りではない。また請負者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。

３．使用材料

（１）アスファルト再生合材について

本工事で使用するアスファルト再生合材には「ささゆりクリーンパーク溶融スラグ」を混入するものとし、使用にあたっては、「溶融スラグの土木資材への利用に関するガイドライン（可児市）」によること。

（２）コンクリート二次製品について

本工事に使用するコンクリート二次製品については、ささゆりクリーンパーク溶融スラグ混入資材を使用するものとし、施工前に溶出試験結果等の品質を証明する書類を提出し、監督員の許可を得ること。

（３）生コンクートについて

本工事に使用する生コンクリート（均しコンクリートを除く）については、水セメント比 60％以下とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。

４．工事施工について

（１）契約書 18 条第 1 項第 1 号から 5 号に係る設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行うこと。

（２）受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。

（３）工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、受注者の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。

（４）工事着手前に、可児市基準点（世界測地系）を用い、境界（座標）を確認すること。また、特に指示しない限り、構造物を官民境界とするため、官民境界と構造物の位置を示した図面等にて施工した構造物が民地を侵していないことを報告すること。

（５）施工区間と現道との取付については、交通の支障とならないよう充分留意すること。

（６）必要に応じ交通誘導警備員を配置し、安全を期さなければならない。また、夜間の安全確保についても十分な対策を施すこと。

５．工事保険について

本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険（保険対象：第三者に与えた損害）及び工事保険（保険対象：工事目的物、工事材料及び仮設物等）に加入するものとする。

６．ワンデーレスポンスの取組について

（１）この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。

「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

（２）実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。

（３）受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

（４）受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。

７．電子納品について

「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

８．暴力団等による不当介入における通報義務について

（1）受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱（平成２２年可児市訓令甲第４７号）に定める様式第９号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。

（2）受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

９.現場代理人の兼務について

現場代理人は、工事請負契約約款第１０条第２項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。

また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。

1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて３件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が２，５００万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。

なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員が認めた場合は、兼務を取り消すものとする。

現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。

１０.主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材搬入、仮設工事等が開始されるまでの期間）については主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員と打ち合わせにおいて定める。

また、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

１１．その他

（１）事前の塗膜調査により、基準値を超えるＰＣＢ及び鉛、六価クロムが確認された為、剥離（ケレン）片を特定有害物質として取扱う必要がある。施工時には外部に飛散のないよう十分注意すること。

（２）塗替塗装工における素地調整は循環式ブラスト工法を使用するものとし、素地調整の品質管理として、①除錆度、②表面粗さ、③表面洗浄度等を確認する、ものとする。

（３）塗替塗装時、橋梁に損傷等の異常を発見した場合際は、直ぐに監督員へ報告すること。

（４）鉛中毒予防規則等を順守して装備や作業環境を整えること。

特記仕様書
（条件明示）

施工条件

工事名　平成29年度　竹之内橋補修工事

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

明示項目		明示事項		制約条件等
工　程	☐	1．関連する別途発注工事あり	☐	A．工種（　　）
			☐	B．期間（　　～　　）
	☐	2．他機関協議による工程条件あり	☐	A．工種（　　）
			☐	B．期間（　　～　　）
	☐	3．他機関との協議状況	☐	A．協議済機関及び内容（　　）
			☐	B．未協議機関及び内容（　　）
	☑	4．占用許可状況（　　）	☑	A．許可済
			☐	B．申請中
	☐	5．建築確認	☐	A．許可済
			☐	B．申請中
	☑	6．河川区域、保全区域内作業あり	☑	A．許可済
			☐	B．申請中
	☐	7．文化財協議（教育文化財課）	☐	A．協議済内容（　　）
			☐	B．未協議内容（　　）
	☐	8．その他	☐	A．その他（　　）
用　地	☐	1．用地補償物件撤去まで着工制限あり	☐	A．区間（NO.　　～NO.　　）
			☐	B．着工見込時期（　　）
			☐	C．内容（　　）
	☐	2．工事用地の未買収	☐	A．場所（　　）
			☐	B．処理の見込み時期　　）
			☐	C．未買収地への立ち入り可否　　）
	☐	3．仮設ヤードの有無	☐	A．官有地
			☐	B．民有地
			☐	C．その他（　　）
			☐	D．別途協議
	☐	4．その他	☐	A．その他（　　）
公害対策	☐	1．施工方法の制限あり	☐	A．騒音（　　）
			☐	B．振動（　　）
			☐	C．水質（　　）
			☐	D．その他（　　）
	☐	2．事業損失防止に関する調査あり	☐	A．調査の項目（　　）
	☐	3．環境影響調査あり	☐	A．生物・植物調査あり
	☐	4．その他	☐	A．アスベスト含有材あり
			☐	B．フロン回収あり
			☐	C．その他（　　）
安全対策	☑	1．交通規制あり	☐	A．全面通行止め
			☑	B．片側通行止め
			☐	C．時間制限あり（　　）
	☐	2．通学路あり	☐	A．迂回路あり
			☐	B．仮設歩道必要
	☑	2．交通整理員	☑	A．区間（NO.　　～　　）配置人員　3　人/日
			☐	B．区間（　　）配置人員　　人/日
			☐	C．区間（NO.　　～　　）配置人員　　人/日
			☑	D．交替要員あり
	☐	3．鉄道等の近接作業制限あり	☐	A．工法制限あり（　　）
			☐	B．作業時間制限あり　　）
	☐	4．バス路線（運行者との協議）	☐	A．協議済内容（　　）
			☐	B．未協議内容（　　）
	☐	5．その他	☐	A．その他（　　）
工事用道路	☐	1．一般道路（搬入路）の使用制限	☐	A．搬入経路指定あり
			☐	B．時間帯制限あり
	☐	2．仮設道路の設置条件あり	☐	A．一般交通供用あり
			☐	B．安全施設必要（　　）
			☐	C．路面工（　　）
			☐	D．工事完了後存続又は撤去（　　）
			☐	E．構造（　　）
			☐	F．用地（借地）
			☐	G．用地（公用地）
			☐	H．用地（その他）
	☐	3．その他	☐	A．その他（　　）
指定仮設備	☐	1．仮設物の指定又は一部指定あり	☐	A．工種（　　）
	☐	2．仮設構造物の転用、兼用あり	☐	A．工種（　　）
			☐	B．内容（　　）
	☐	3．その他	☐	A．その他（　　）

明示項目	明示事項		制約条件等	
建設発生土 建設（産業）廃棄物 関係	□	1．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［場所が未確定］	□	A．運搬距離（　　Km
			□	B．投棄料計上あり
			□	C．整地（押土、敷均、締固等）必要
			□	D．整地（押土）必要
	□	2．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［自工事へ流用］	□	A．盛土、埋戻
			□	B．ストックヤード利用あり（　　）
			□	C．仮置場必要（　　）
			□	D．運搬距離（　　Km）
			□	E．仮置場の用地借上費計上あり
	□	3．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［他工事へ流用、または処分地指定］	□	A．場所（
			□	B．盛土、埋戻
			□	C．整地（押土、敷き均し、転圧）あり
			□	D．ストックヤード利用あり（　　）
			□	E．仮置場必要（　　）
			□	F．運搬距離（　　Km）
			□	G．仮置場の用地借上費計上あり
			□	H．処分料計上あり
	□	4．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［他工事からの流用］	□	A．他工事名（
			□	B．請負者運搬あり（運搬距離
			□	C．盛土、埋め戻し
			□	D．ストックヤード利用あり（　　）
			□	E．仮置場必要（　　）
			□	F．仮置場の用地借上費計上あり
	□	5．産業廃棄物の処理条件あり ［特別管理産業廃棄物］	□	A．種類（　　）
			□	B．場所（　　）
			□	C．中間処理施設までの運搬距離（　　Km）
			□	D．処理費計上あり
	□	6．浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	□	A．槽内洗浄必要
			□	B．可児市環境課と打合せの必要あり
	☑	7．「可児市が発注する公共工事から発生する産業廃棄物適正処理について」に基づく提出・提示書類あり	☑	A．産業廃棄物管理票（マニフェスト）
			□	B．建設発生土処理地の関係図書
			☑	C．クレダス
			□	
工事支障物件	□	1．占用支障物件あり（電気）	□	A．移設時期（H　　年　　月頃）
			□	B．移設時期（別途協議）
	□	2．占用支障物件あり（電話）	□	A．移設時期（H　　年　　月頃）
			□	B．移設時期（別途協議）
	□	3．占用支障物件あり（水道）	□	A．移設時期（H　　年　　月頃）
			□	B．移設時期（別途協議）
	□	4．占用支承物件あり（下水道）	□	A．移設時期（H　　年　　月頃）
			□	B．移設時期（別途協議）
	□	5．占用支障物件あり（ガス）	□	A．移設時期（H　　年　　月頃）
			□	B．移設時期（別途協議）
	□	6．占用支障物件あり（ﾏﾝﾎｰﾙ蓋、仕切り弁蓋等）	□	A．管理者による高さ調整　（　　）
			□	B．請負者による高さ調整　（　　）
	□	7．占用支障物件あり（その他）	□	A．移設時期　（　　）
			□	B．移設時期　（別途協議）
	□	8．その他	□	A．その他（　　）
排水工関係	□	1．濁水、湧水処理条件あり	□	A．方法（　　）
	□	2．その他	□	A．その他（　　）
再生材使用及び溶融スラグ	□	1．再生材使用指定あり	□	A．RC
			□	B．アスファルト再生合材（30%再生）
			□	C．アスファルト再生合材（100%再生）
			□	D．溶融スラグ使用あり（　　）
			□	E．再生材を使用できない場合別途協議
	□	2．その他	□	A．その他（　　）
その他	□	1．現場発生材あり	□	A．品名（　　）
			□	B．納入場所　　）
	□	2．支給材あり	□	A．品名（　　）
			□	B．引渡し場所（　　）
	□	3．イメージアップあり	□	A．仮設費（　　）
			□	B．安全費（　　）
			□	C．営繕費（　　）
			□	D．特別なイメージアップ（　　）
	□	4．「可児市工事品質証明実施要領」該当あり	□	A．品質証明員の配置あり
	□	5．その他	□	A．その他（　　）

平成29年度　竹之内橋補修工事

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
本工事費	式	1			費目行	
舗装打換え工	式	1			1号明細書	
橋面防水工	式	1			2号明細書	
伸縮装置取替工	式	1			3号明細書	
水切り設置工	式	1			4号明細書	
断面修復工	式	1			5号明細書	
ひび割れ補修工	式	1			6号明細書	
塗替塗装工	式	1			7号明細書	
足場工	式	1			8号明細書	
付帯工	式	1			9号明細書	
交通規制工	式	1			10号明細書	
直接工事費						
技術管理費	式	1			1号内訳書	
共通仮設費(積上分計)						

平成29年度　竹之内橋補修工事

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
共通仮設費(率分)	式	1			2号内訳書	
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費	式	1			3号内訳書	
工事原価						
一般管理費等	式	1			4号内訳書	
工事価格						
消費税相当額	%					
設計価格						

技術管理費

内訳書

1号内訳書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
鉄筋探査工(報告書作成費用含む) 探査方向 下向き 深度0.5~20cm 距離10m	m2	0.030			23号代価表	
計						

共通仮設費(率分)

内訳書

2号内訳書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
率　分　表　示	式	1				
計						

現場管理費

内訳書

3号内訳書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
率　分　表　示	式	1				
計						

一般管理費等

内訳書

4号内訳書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
率　分　表　示	式	1				
計						

舗装打換え工

明細書

1号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
既設舗装取壊し工	式	1			1号代価表	
アスファルト舗装工	式	1			2号代価表	
区画線工	式	1			3号代価表	
計						

橋面防水工

明細書

2号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
橋面防水工[材工共] 塗膜系防水(ｱｽﾌｧﾙﾄ系･合成ｺﾞﾑ系) 補修　ﾄﾞﾚｰﾝ無　目地無　夜間無	m2	156				
端部処理工	m	65			4号代価表	
床板水抜きパイプ設置工	式	1			5号代価表	
計						

伸縮装置取替工

明細書

3号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
橋梁用伸縮継手装置設置工　(A1) 補修 普通型 2車線相当 夜間無 本体材料有	m	6 900			6号代価表	
橋梁用伸縮継手装置設置工　(A2) 補修 普通型 2車線相当 夜間無 本体材料有	m	6 900			7号代価表	
目地シール工	箇所	4			8号代価表	
計						

水切り設置工

明細書

4号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
水切り設置工	m	53			9号代価表	
計						

断面修復工

明細書

5号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
断面修復工(左官工法) 鉄筋ｹﾚﾝ･鉄筋防錆処理有　延べ施工量0.149m3	橋	1			10号代価表	
断面修復工(左官工法) 鉄筋ｹﾚﾝ･鉄筋防錆処理無　延べ施工量0.002m3	橋	1			11号代価表	
コンクリート殻処分工	m3	0.150			12号代価表	
計						

ひび割れ補修工

明細書

6号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
ひび割れ補修工(充てん工法) 延べ施工量0.4m 材料使用量0.06	橋	1			13号代価表	
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 延べ施工量3m 注入材0.1kg ｼｰﾙ材0.9kg 低圧注入器具11本	橋	1			14号代価表	
計						

塗替塗装工

明細書

7号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
循環式エコクリーンブラスト 500m2未満 素地調整	m2	260			15号代価表	
橋梁塗装工 塗替塗装[材工共]　500m2未満 下塗り　Rc-Ⅰ・有機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ・ｽﾌﾟﾚｰ	m2	260				
橋梁塗装工 塗替塗装[材工共] 500m2未満 下塗り(1層目) Rc-Ⅰ　弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料 ｽﾌﾟﾚｰ	m2	260				
橋梁塗装工 塗替塗装[材工共] 500m2未満 下塗り(2層目) Rc-Ⅰ　弱溶剤形変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料 ｽﾌﾟﾚｰ	m2	260				
橋梁塗装工 塗替塗装[材工共]　500m2未満　淡彩 中塗り Rc-Ⅰ　弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 ｽﾌﾟﾚｰ	m2	260				
橋梁塗装工 塗替塗装[材工共]　500m2未満　淡彩 上塗り Rc-Ⅰ　弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 ｽﾌﾟﾚｰ	m2	260				
計						

足場工

明細書

8号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
床版補強足場 TYPE-A3 総月数1.3月　吊足場(部材移動有)	m2	175			16号代価表	
床版補強足場 TYPE-B 総月数1月　両面朝顔	m2	175			17号代価表	
ﾌﾞﾗｽﾄ用養生設備工 組立解体費+損料 0.3箇月	m2	175			18号代価表	
計						

付帯工

明細書

9号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
PCB・鉛等対策安全費	式	1			19号代価表	
低レベルPCB含有ケレンかす保管用ドラム缶	本	4				
研削材及びケレンかす回収	m2	260			20号代価表	
計						

交通規制工

明細書

10号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
交通誘導警備員A(検定合格) 昼間勤務(8時~17時)実働9h(交替要員有)	人				21号代価表	
交通誘導警備員B 昼間勤務(8時~17時)実働9h(交替要員有)	人				22号代価表	
計						

代価表

既設舗装取壊し工

1号代価表

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
とりこわし工	m3	7 800			24号代価表	
コンクリート殻処分工	m3	7 800			25号代価表	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

アスファルト舗装工

代価表

2号代価表

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
【施P】表層(車道･路肩部) 1.4m以上 50mm　密粒度ｱｽｺﾝ(20) 無し	m2	156			26号代価表	
薄層ｶﾗｰ舗装工 樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装工 厚6mm超え8mm以下 階段無 50m2未満 制約無 夜間無	m2	13			27号代価表	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

区画線工

代価表

3号代価表

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
区画線設置（200m未満） 溶融式手動 夜間無	式	1			28号代価表	
計						
1 式 当り						

端部処理工

代価表

4号代価表

1 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
端部目地材　B=150mm シルバーメッシュ同等品以上	m	1				
成型目地材　t=5mm B=50mm （セロシールSS同等品以上）	m	1				
排水用導水管 φ18ドレイナー（ステンレス）	m	1				
計						
1 m 当り						

床板水抜きパイプ設置工

代価表

5号代価表

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
水抜きパイプ設置工	箇所	4			29号代価表	
導水管設置工	箇所	4			30号代価表	
コンクリート削孔工	式	1			31号代価表	
現場孔明け工	式	1			32号代価表	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

代価表

6号代価表

橋梁用伸縮継手装置設置工　(A1)
補修 普通型 2車線相当 夜間無 本体材料有

1 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
橋梁用伸縮継手装置設置工[手間のみ] 補修 普通型 2車線相当	m	1				
STｼﾞｮｲﾝﾄ 車道用 ST-20N相当品 伸縮20mm	m	1				
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 m 当り						

代価表

7号代価表

橋梁用伸縮継手装置設置工　(A2)
補修 普通型 2車線相当 夜間無 本体材料有

1 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
橋梁用伸縮継手装置設置工[手間のみ] 補修 普通型 2車線相当	m	1				
STｼﾞｮｲﾝﾄ 車道用 ST-30N相当品 伸縮30mm	m	1				
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 m 当り						

代価表

目地シール工

8号代価表

4 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
橋りょう世話役	人					
橋りょう特殊工	人					
普通作業員	人					
目地シール材 シリコーン　＃70 4L缶	L					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1 箇所 当り						

水切り設置工

代価表

9号代価表

100 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
水切り材（シール材含む） アイドリップ同等品以上（軟質PVC）	m	100				
諸雑費（労務費に対して）	%				諸雑費	
計						
1 m 当り						

代価表

断面修復工(左官工法)
鉄筋ｹﾚﾝ･鉄筋防錆処理有　延べ施工量0.149m3

10号代価表

1 橋当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
左官工法用(ｺﾃ塗り) ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ	m3	0.180				
諸雑費	%				諸雑費	器具(電動ﾋﾟｯｸ､ｻﾝﾀﾞｰ等)､替え刃､電力等
計						
1 橋 当り						
鉄筋ｹﾚﾝ･鉄筋防錆処理の有無 ： 有 1橋当りの延べ施工量 ： V=0.149m3						
資材計上区分 ： 材料費+施工費 断面修復材 ： ﾗｲｵﾝGRLC ； 断面修正補修剤(B,C材ｾｯﾄ)						
断面修復材の単位 ：「m3」単位の断面材材料費						

代価表

断面修復工(左官工法)
鉄筋ｹﾚﾝ･鉄筋防錆処理無 延べ施工量0.002m3

11号代価表

1 橋当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
諸雑費	%				諸雑費	器具(電動ﾋﾟｯｸ､ｻﾝﾀﾞｰ等)､替え刃､電力等
計						
1 橋 当り						
鉄筋ｹﾚﾝ･鉄筋防錆処理の有無 ： 無 1橋当りの延べ施工量 ： V=0.002m3						
資材計上区分 ： 材料費+施工費 断面修復材 ： ﾗｲｵﾝGRLC ； 断面修正補修剤(B,C材ｾｯﾄ)						
断面修復材の単位 ：「m3」単位の断面材材料費						

コンクリート殻処分工

代価表

12号代価表

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
【施P】殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋･鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID無し 11.5km以下	m3	1			33号代価表	
ｺﾝｸﾘｰﾄ処理場 無筋	t	2 350				
計						
1 m3 当り						

代価表

ひび割れ補修工(充てん工法)
延べ施工量0.4m 材料使用量0.06

13号代価表

1 橋当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
可とう性エポキシ樹脂	ｋｇ					
諸雑費	%				諸雑費	器具(ｻﾝﾀﾞｰ等)、替え刃、ﾌﾟﾗｲﾏｰ材料費、電力
計						
1 橋 当り						
1橋当りの延べ施工量 ： L=0.4m 資材計上区分 ： 材料費+施工費						
充てん材 ： 接着剤 ； ｺﾝｸﾘｰﾄ打継用 1橋当りの材料使用量 ： S4=0.06ｋｇ						

代価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
延べ施工量3m 注入材0.1kg ｼｰﾙ材0.9kg 低圧注入器具11本

14号代価表

1 橋当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
注入材 エポキシ樹脂	k g					
シール材 エポキシ樹脂	k g					
橋梁用ひび割れ補修材 BLｲﾝｼﾞｪｸﾀｰ 補充可能型注入器具	本	11				
諸雑費	%				諸雑費	清掃、注入器具設置・撤去、ｼｰﾙ材塗布・撤去、注入
計						
1 橋 当り						
1橋当りの延べ施工量 ： L=3m 資材計上区分 ： 材料費+施工費						
注入材 ： 接着剤； ｺﾝｸﾘｰﾄ打継用 1橋当りの注入材使用量 ： s4a=0.1ｋｇ						
ｼｰﾙ材 ： 接着剤； ｺﾝｸﾘｰﾄ打継用 1橋当りのｼｰﾙ材使用量 ： s5a=0.9ｋｇ						

代価表

14号代価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
延べ施工量3m 注入材0.1kg ｼｰﾙ材0.9kg 低圧注入器具11本

1 橋当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
注入器具計上区分 ： 計上する 低圧注入器具 ： 橋梁用ひび割れ補修材 ； BLｲﾝｼﾞｪｸﾀｰ 補充可能型注入器具						
1橋当りの低圧注入器具使用量 ： s6a=11本						

代価表

15号代価表

循環式エコクリーンブラスト 500m2未満
素地調整

1,000 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
橋りょう世話役	人					
橋りょう塗装工	人					
橋りょう特殊工	人					
循環式ブラストマシーン損料 2ノズルタイプ	台・日					
ダストコレクター損料 55kwルーツブロワー	台・日					
ブラストノズル・ブラストホース損料	台・日					
循環式ブラストマシーン整備費	式	1				
コンプレッサー損料 18.5m3/min　ドライタイプ	台・日					
ディーゼル発電機 125kVA	台・日					
研削材損料 スチールグリット（金属系研削材）	ｋｇ					
軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1 m2 当り						

代価表

床版補強足場 TYPE-A3
総月数1.3月　吊足場(部材移動有)

16号代価表

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
橋りょう特殊工	人					
足場損料 橋梁補修工用	m2	1				
計						
1 m2 当り						
代価表の選択 ： 足場工1m2当りの代価表 足場架設の総月数 ： X=1.3月						
損料及び歩掛係数 ： S1=530,N1=0.153； TYPE-A3:吊足場(足場上で部材移動のある場合)； 損料係数S,歩掛係数N 環境による補正 ： k1=1.1； 足場を設置する橋梁路面からの足場材を搬入･搬出を必要とする場合； 環境係数(k1)						
極小面積補正(A1~A3,B) ： k2=1； なし； 補正係数						

代価表

17号代価表

床版補強足場 TYPE-B
総月数1月 両面朝顔

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
橋りょう特殊工	人					
足場損料 橋梁補修工用	m2	1				
計						
1 m2 当り						
代価表の選択 ： 足場工1m2当りの代価表 足場架設の総月数 ： X=1月						
損料及び歩掛係数 ： S1=50,N1=0.022； TYPE-B:両面朝顔； 損料係数S,歩掛係数N 環境による補正 ： k1=1.1； 足場を設置する橋梁路面からの足場材を搬入･搬出を必要とする場合； 環境係数(k1)						
極小面積補正(A1~A3,B) ： k2=1； なし； 補正係数						

代価表

ﾌﾞﾗｽﾄ用養生設備工
組立解体費+損料 0.3箇月

18号代価表

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
橋りょう特殊工	人					
養生設備損料	月	0 300				
計						
1 m2 当り						
施工区分 ： 組立解体費 + 損料 養生設備損料 ： 養生設備損料；						
養生設備を供用している月数 ： T=0.3箇月 作業員の編成人員(日当り施工量算出) ： Sa=1人						

PCB・鉛等対策安全費

代価表

19号代価表

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
集塵機装置賃料	式	1				
エアーシャワー賃料	式	1				
計						
1 式 当り						

研削材及びケレンかす回収

代価表

20号代価表

70 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
計						
1 m2 当り						

代価表

交通誘導警備員A(検定合格)
昼間勤務(8時~17時)実働9h(交替要員有)

21号代価表

1 人当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
交通誘導警備員A(9h単価) 昼間勤務 実働9h(交替有り)	人					
計						
1 人 当り						
代価表の選択 ： 1人日当り代価表 職種区分(A･B･旧) ： 交通誘導警備員A(検定合格警備員)						
現場条件区分(昼、夜、24h) ： NFG2=2； 昼間勤務(8時~17時)実働9h (交替要員有)； 区分						

代価表

交通誘導警備員B
昼間勤務(8時~17時)実働9h(交替要員有)

22号代価表

1 人当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
交通誘導警備員B(9h単価) 昼間勤務 実働9h(交替有り)	人					
計						
1 人 当り						
代価表の選択 ： 1人日当り代価表 職種区分(A･B･旧) ： 交通誘導警備員B						
現場条件区分(昼､夜､24h) ： NFG2=2； 昼間勤務(8時~17時)実働9h (交替要員有)； 区分						

代価表

鉄筋探査工(報告書作成費用含む)
探査方向 下向き 深度0.5~20cm 距離10m

23号代価表

18 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
技師(A)(屋外補正対象)	人					
技師(B)(屋外補正対象)	人					
技師(C)(屋外補正対象)	人					
諸雑費	%				諸雑費	消耗品、用紙、探査機器損料等
計						
1 m2 当り						
日当り施工量 ： D=18； 下向き； 日当り施工量	(m2/日)					

とりこわし工

代価表

24号代価表

10 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
さく岩機[ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ] 〈ﾊﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰｶ〉 20kg級	日					
空気圧縮機(賃料) 3.5~3.7m3/分低騒音型	日				1号単価表	
諸雑費	%				諸雑費	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ、ﾊﾝﾄﾞﾊﾝﾏ、ﾁｾﾞﾙ、ﾎｰｽ等
計						
1 m3 当り						
空気圧縮機 ： 空気圧縮機(賃料)； 3.5~3.7m3/分低騒音型						

コンクリート殻処分工

代価表

25号代価表

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
【施P】殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋･鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID無し 11.5km以下	m3	1			33号代価表	
ｺﾝｸﾘｰﾄ処理場 無筋	t	2 350				
計						
1 m3 当り						

代価表

【施P】表層(車道･路肩部)
1.4m以上 50mm　密粒度ｱｽｺﾝ(20) 無し

26号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ﾎｲｰﾙ型･舗装幅2.4~ 6.0m					
K2	ﾀｲﾔﾛｰﾗ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通型･質量8~20t					
K3	ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ﾏｶﾀﾞﾑ･質量10~12t･締固め幅2.1m					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	運転手(特殊)					
R4	土木一般世話役					
Z						
Z1	ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 密粒度ｱｽｺﾝ(20)				34号代価表	
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					

代価表

【施P】表層(車道･路肩部)
1.4m以上 50mm　密粒度ｱｽｺﾝ(20) 無し

26号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無					
平均幅員	： 1.4m以上					
1層当り	平均仕上り厚(標準50mm) ： TH37a=50mm					
材料	： 各種(2.30以上2.40t/m3未満)					
瀝青材料種類	： 無し					
(ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ)	排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)					
(ﾀｲﾔﾛｰﾗ)	排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)					
(ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ)	排ｶﾞｽ機械(工種指定)選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)(※標準)ﾏｶﾀﾞﾑ･10~12t					
ｱｽﾌｧﾙﾄ	混合物 ： ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物； 密粒度ｱｽｺﾝ(20)					
軽油	： 軽油； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					

代価表

27号代価表

薄層ｶﾗｰ舗装工
樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装工 厚6mm超え8mm以下 階段無 50m2未満 制約無 夜間無

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
薄層ｶﾗｰ舗装工[材工共] 樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装工 厚6超え8mm以下	m2	1				
計						
1 m2 当り						
代価表の当り数量 ： 1当り代価表 施工区分 ： 樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装工･歩道,自転車道,歩道橋,側道橋						
規格･仕様 ： 薄層ｶﾗｰ舗装工[材工共]； 樹脂ﾓﾙﾀﾙ舗装工 厚6超え8mm以下 階段ｽﾃｯﾌﾟ部 ： 無						
施工規模 ： 50m2未満 夜間作業の補正 ： 無						
市場単価の補正方法 ： 単価欄に対して補正計算を行う 市場単価の日当り施工量補正有無 ： 有(積算基準記載の標準値に対して市場単価の加算率･補正係数を乗ずる)						

代価表

区画線設置（200m未満）
溶融式手動 夜間無

28号代価表

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
区画線工 区画線設置[材工共] 溶融式(手動) 供用区間 200m未満(一式価格)	式	1				
計						
1 式 当り						
施工方法区分 ： 溶融式手動 夜間作業の補正 ： 無						
市場単価の補正方法 ： 単価欄に対して補正計算を行う						

水抜きパイプ設置工

代価表

29号代価表

4 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
スラブドレーン同等品以上 床板厚160㎜～190㎜対応用	組	4				
注入樹脂材：エポキシ系 コニシＥ-206同等品以上　3kg/ｾｯﾄ	ｾｯﾄ	1				
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
雑品	式	1				
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 箇所 当り						

導水管設置工

代価表

30号代価表

4 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
フレキシブルチューブ：SUS 20A*1480（片側ナット付）	本	2				
フレキシブルチューブ：SUS 20A*1450（片側ナット付）	本	2				
止め金具：SUS パイラッククリップ同等品以上（S-PH1(3～16)+S-19C）	組	4				
パイラック取付金具：HDZ	組	4				
土木一般世話役	人					
普通作業員	人					
雑品	式	1				
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 箇所 当り						

コンクリート削孔工

代価表

31号代価表

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
【施P】ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔(ｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞﾏｼﾝ) ｱﾝｶｰ材径:43mmを超え54mm以下 削孔深:500mm以下	孔	4			35号代価表	
【施P】ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔(ｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞﾏｼﾝ) ｱﾝｶｰ材径:80mmを超え100mm以下 削孔深:500mm以下	孔	4			36号代価表	
計						
1 式 当り						

現場孔明け工

代価表

32号代価表

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
排水管孔明工	箇所	4			37号代価表	
排水桝孔明工	箇所	4			38号代価表	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

代価表

【施P】殻運搬
ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋･鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID無し 11.5km以下

33号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級					
R						
R1	運転手(一般)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
殻発生作業､積込工法区分 ： ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋･鉄筋)構造物とりこわし ； 積込工法区分 DID区間の有無 ： 無し						
運搬距離 ： 11.5km以下 軽油 ： 軽油 ； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

代価表

34号代価表

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物
密粒度ｱｽｺﾝ(20)

1 t 当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
付着性改善改質ｱｽﾌｧﾙﾄ 密粒度ｱｽｺﾝ(20)	t	1				
計						
1 t 当り						
ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(各種) ： 付着性改善改質ｱｽﾌｧﾙﾄ ; ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の単位選択 ：「t」単位の材料単価	密粒度ｱｽｺﾝ(20)					
ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物小型車割増額の計上 ： 計上しない ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物夜間割増額の計上 ： 計上しない						

代価表

【施P】ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔(ｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞﾏｼﾝ)
ｱﾝｶｰ材径:43mmを超え54mm以下 削孔深:500mm以下

35号代価表

1 孔当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
R						
R1	土木一般世話役					
R2	特殊作業員					
Z						
Z1	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾋﾞｯﾄ 64.7mm					
ｱﾝｶｰ材径 ： 43mmを超え54mm以下 削孔深さ ： 500mm以下						

代価表

【施P】ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔(ｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞﾏｼﾝ)
ｱﾝｶｰ材径:80mmを超え100mm以下 削孔深:500mm以下

36号代価表

1 孔当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
R						
R1	土木一般世話役					
R2	特殊作業員					
Z						
Z1	ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾋﾞｯﾄ 110.0mm					
ｱﾝｶｰ材径 ： 80mmを超え100mm以下 削孔深さ ： 500mm以下						

排水管孔明工

代価表

37号代価表

4 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
ホールカッター φ30 超硬チップ付き	個	1				
発電機 2.2kVA	台	1				
ドリル 100V	台	1				
雑品	式	1				
計						
1 箇所 当り						

排水桝孔明工

代価表

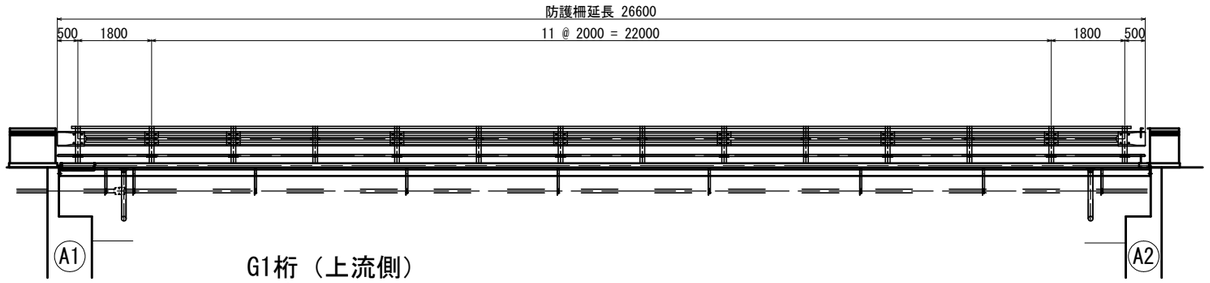
38号代価表

8 箇所当り

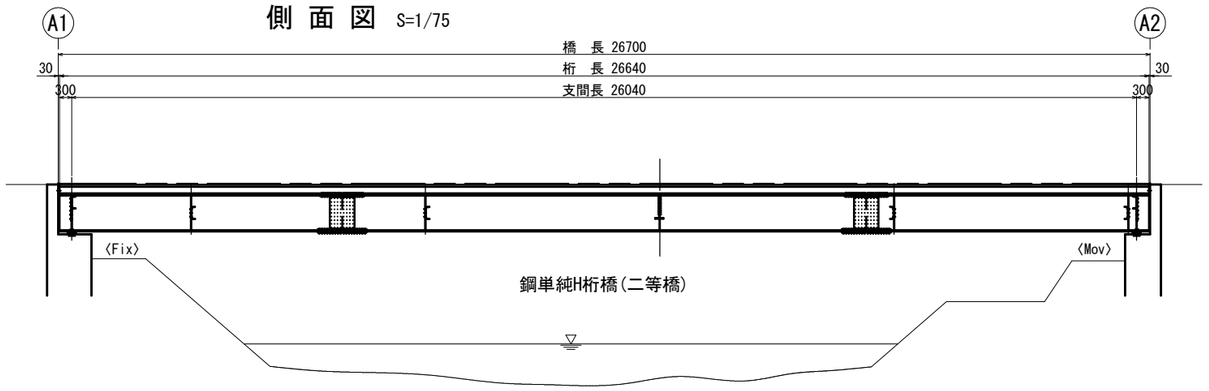
名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
ホールカッター φ20 超硬チップ付き	個	3				
発電機 2.2kVA	台	1				
ドリル 100V	台	1				
雑品	式	1				
計						
1 箇所 当り						

竹之内橋 橋梁一般図(その1)

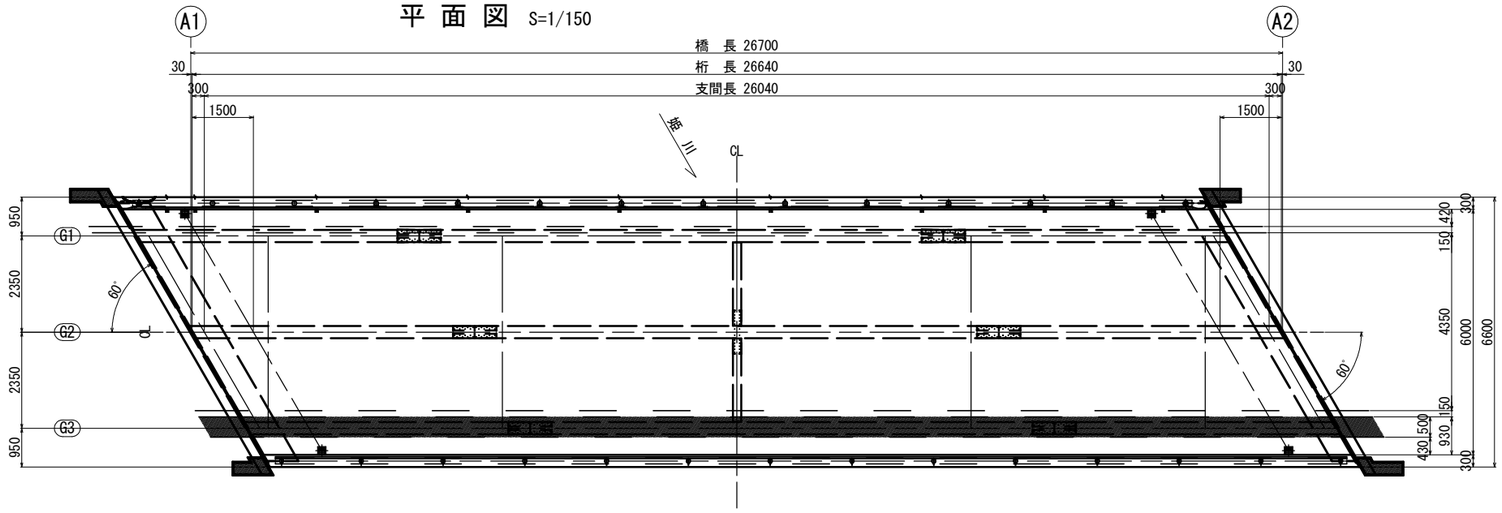
防護柵（上流側）
側 面 図 S=1/150



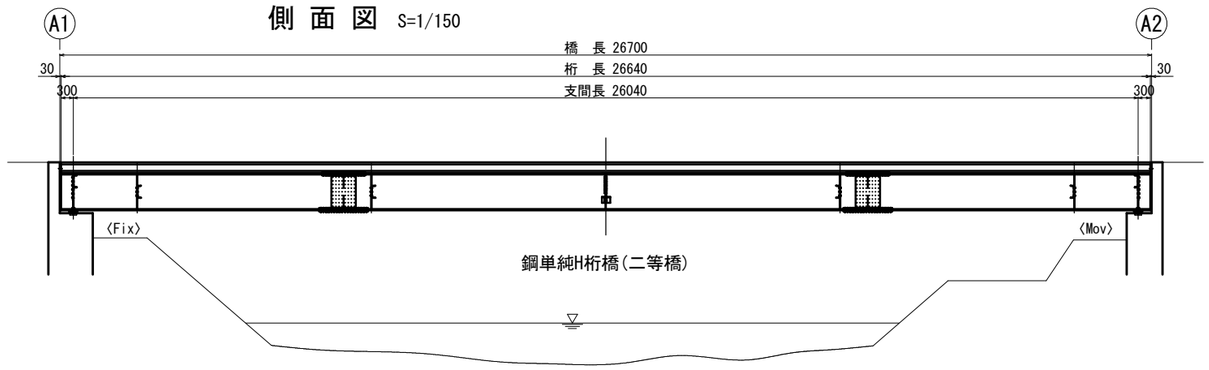
G1桁（上流側）
側 面 図 S=1/75



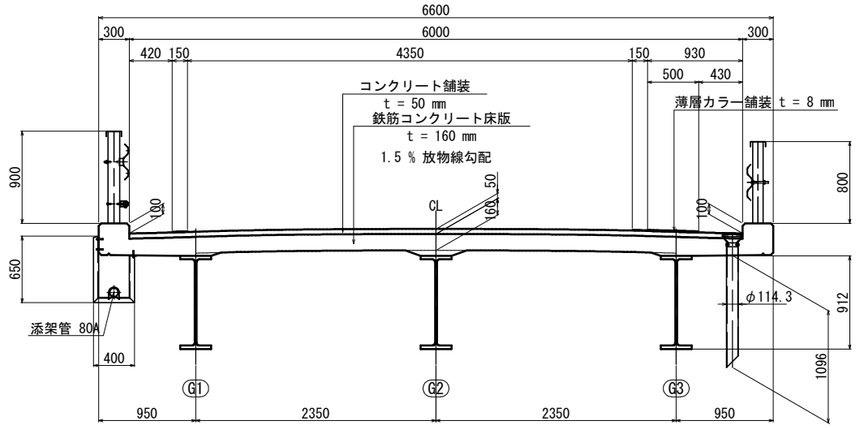
橋 面
平 面 図 S=1/150



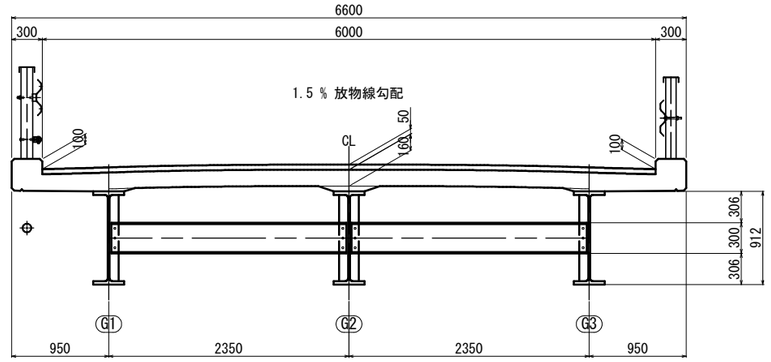
G2桁（CL上）
側 面 図 S=1/150



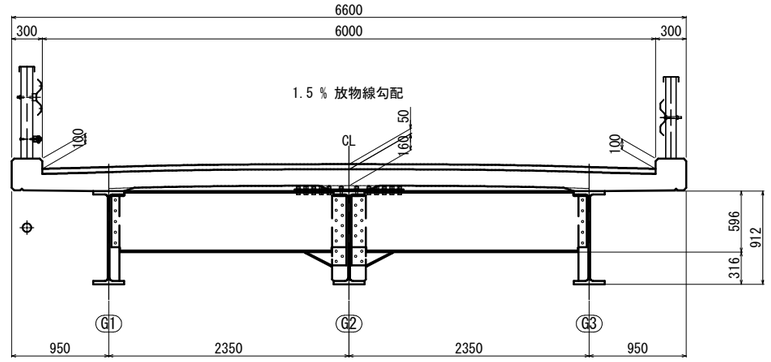
中 間 部
断 面 図 S=1/60



中間横桁
断 面 図 S=1/60



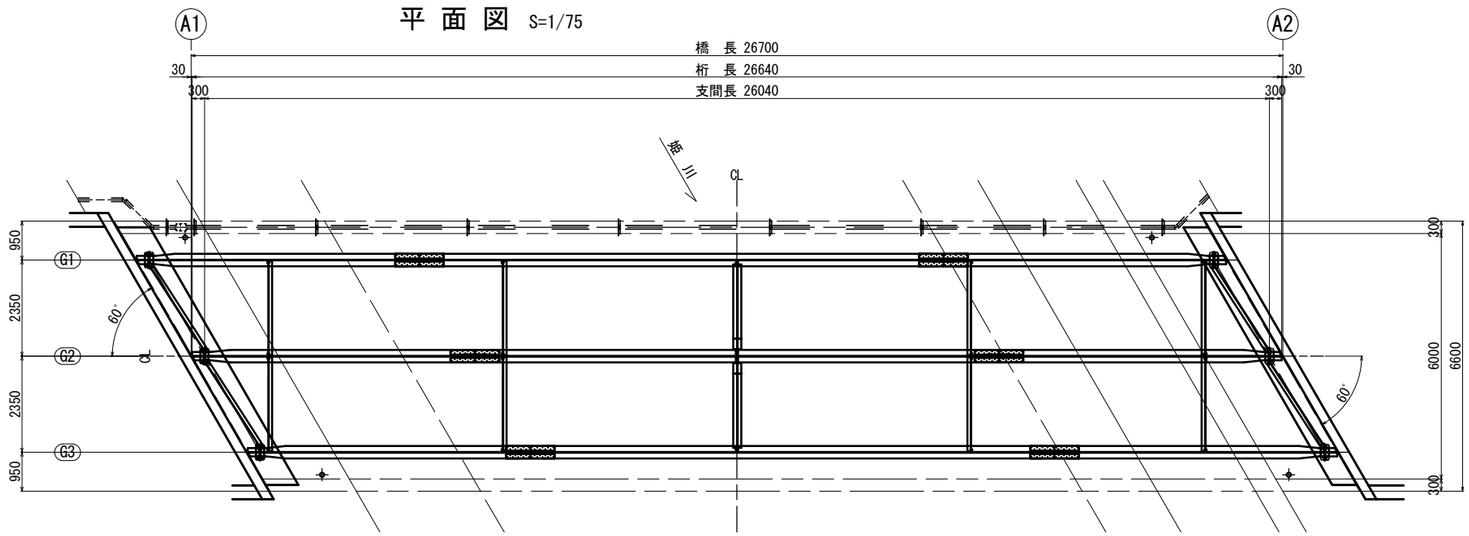
分配横桁
断 面 図 S=1/60



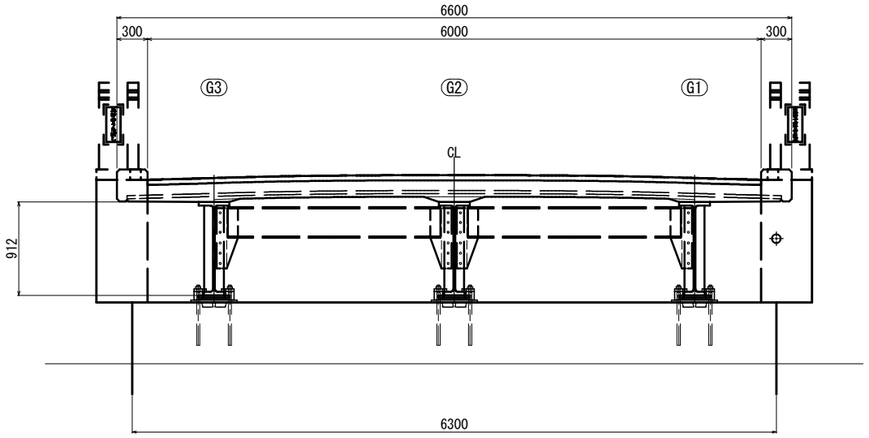
業務名/工事名	平成29年度　竹之内橋補修工事		
路線・河川名等	市道　33号線		
施工箇所名	岐阜県可児市下切地内		
図面の種類	竹 之 内 橋 橋梁一般図(その1)		
縮　　尺	図　示	図面番号	14 葉之内 2
事 務 所 名	可　児　市		

竹之内橋 橋梁一般図(その2)

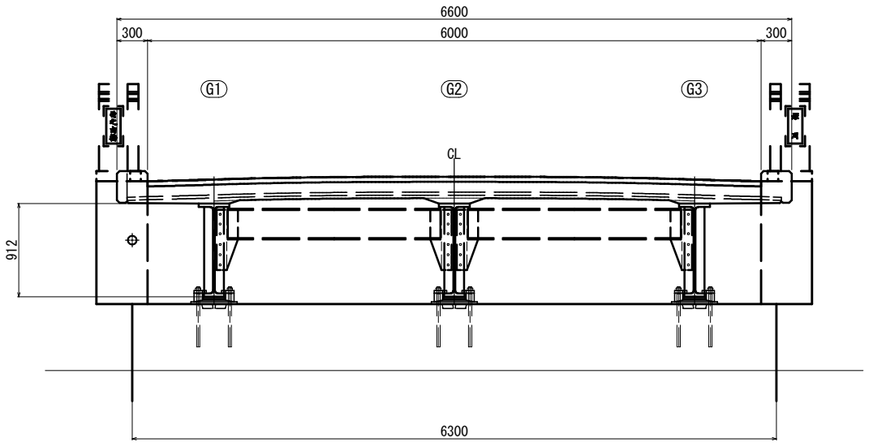
主桁 下面
平 面 図 S=1/75



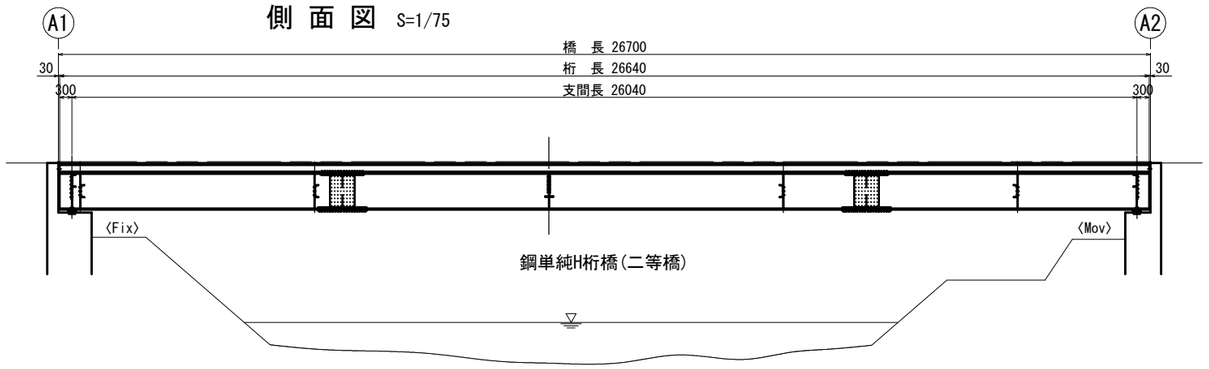
A1橋台〈Fix〉
正 面 図 S=1/30



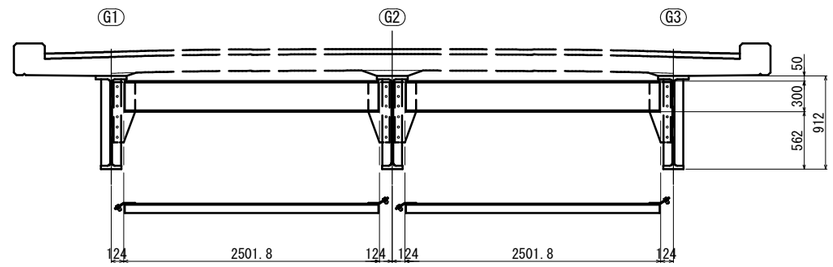
A2橋台〈Mov〉
正 面 図 S=1/30



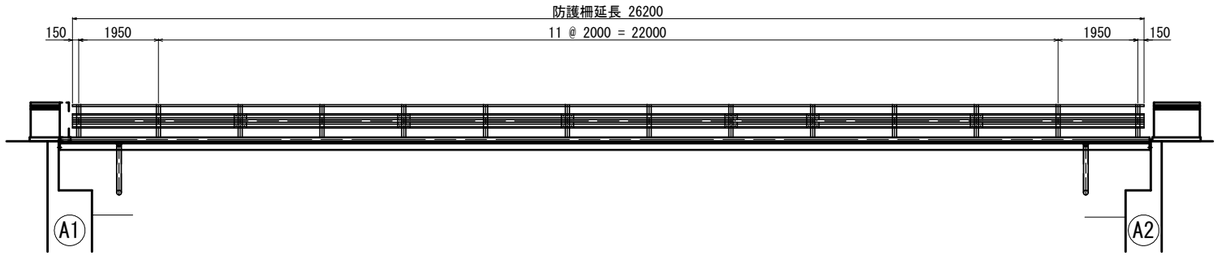
G3桁（下流側）
側 面 図 S=1/75



端 横 桁
展 開 図 S=1/30



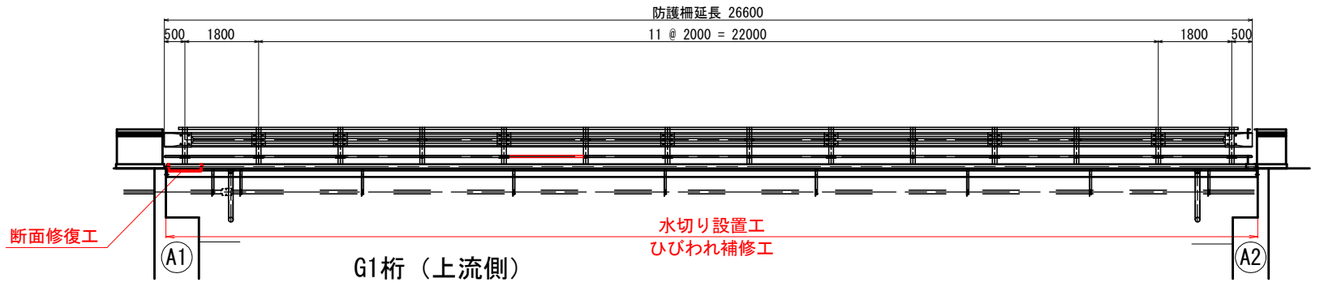
防護柵（下流側）
側 面 図 S=1/75



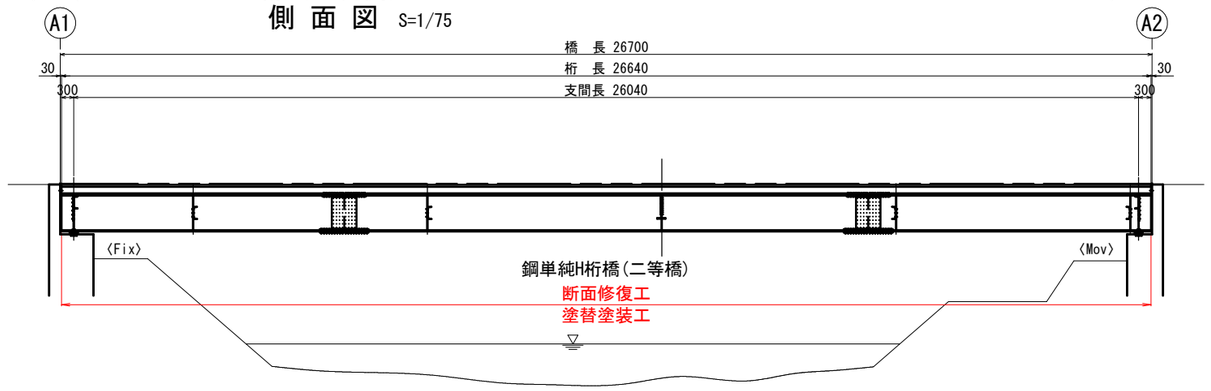
業務名/工事名	平成29年度　竹之内橋補修工事		
路線・河川名等	市道　33号線		
施工箇所名	岐阜県可児市下切地内		
図面の種類	竹 之 内 橋 橋梁一般図(その2)		
縮　　尺	図　示	図面番号	14 葉之内 3
事 務 所 名	可　児　市		

竹之内橋 補修一般図(その1)

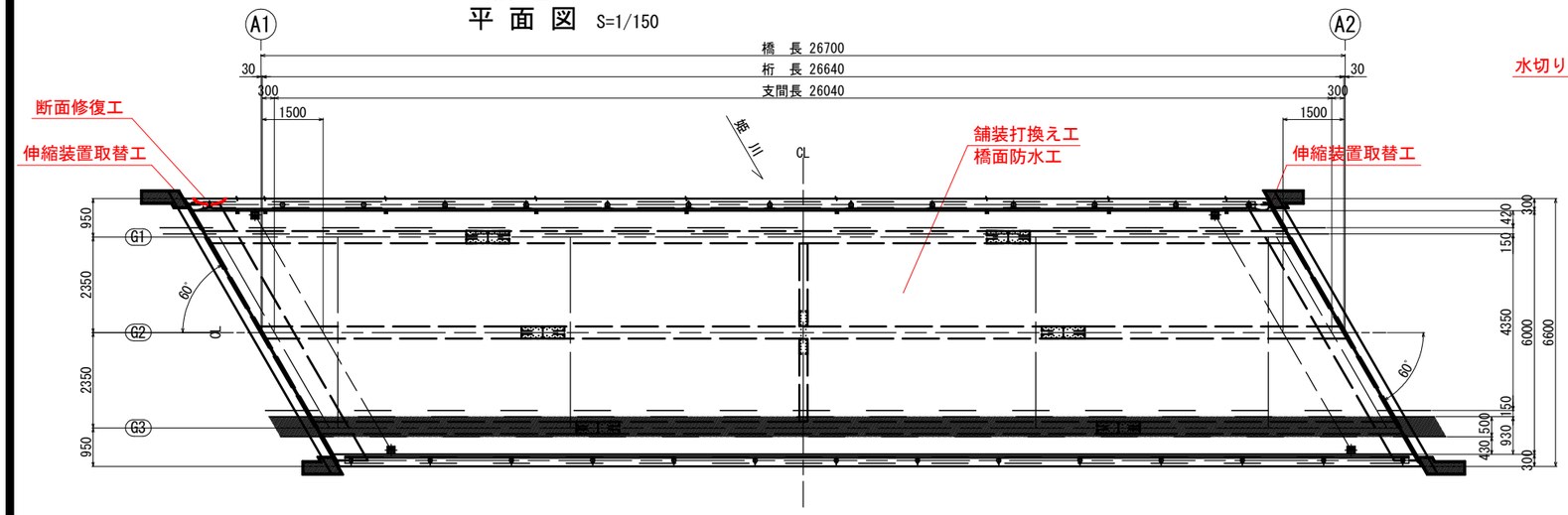
防護柵（上流側）
側 面 図 S=1/150



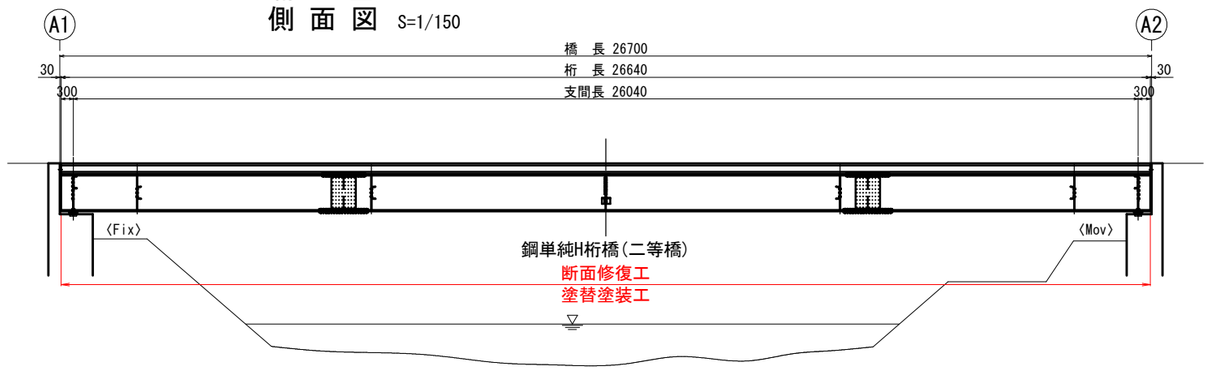
G1桁（上流側）
側 面 図 S=1/75



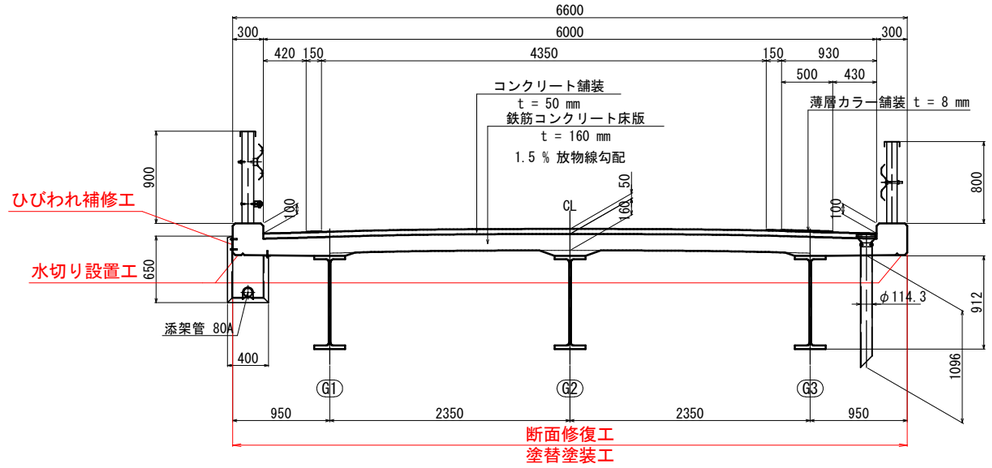
橋 面
平 面 図 S=1/150



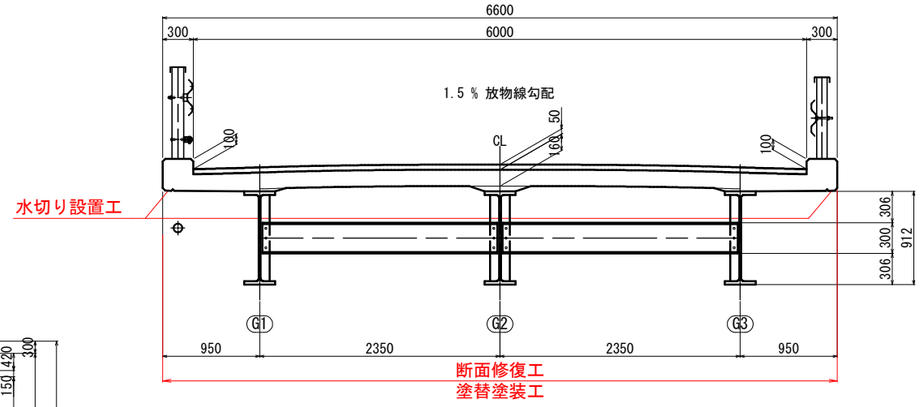
G2桁（CL上）
側 面 図 S=1/150



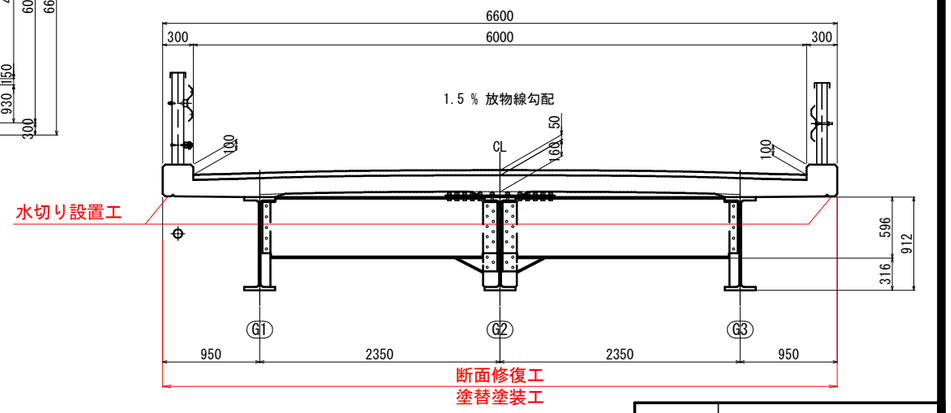
中 間 部
断 面 図 S=1/60



中間横桁
断 面 図 S=1/60



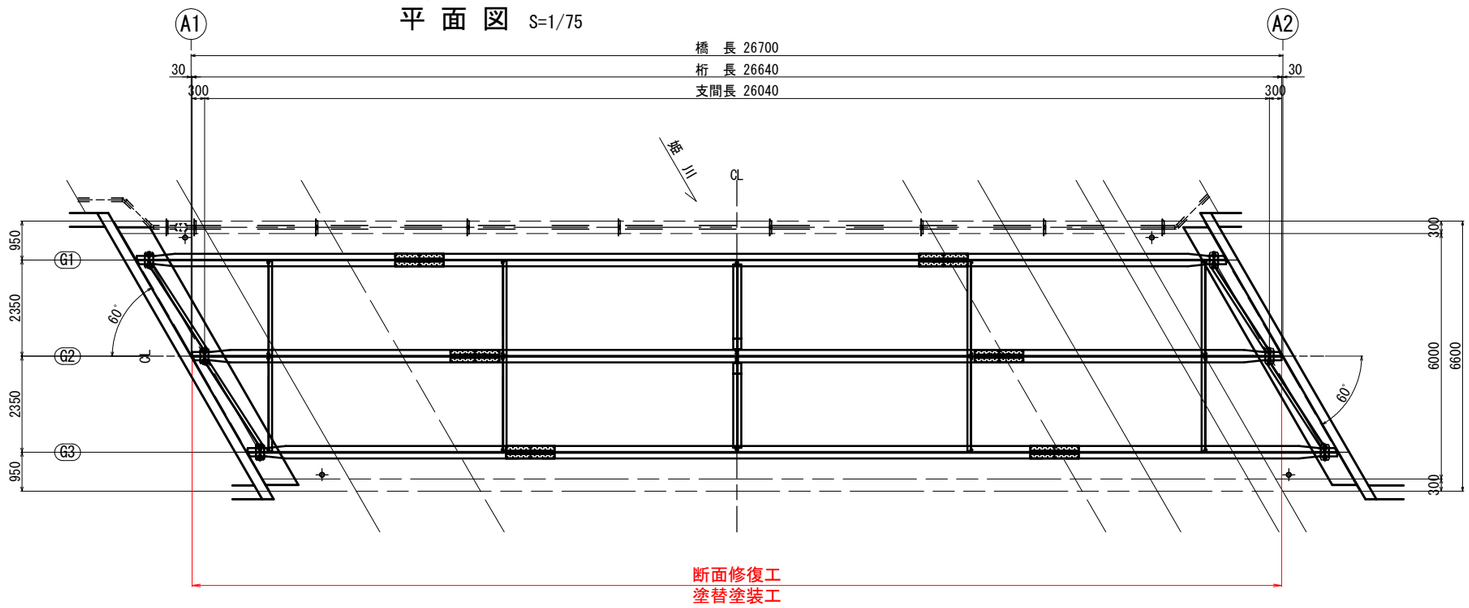
分配横桁
断 面 図 S=1/60



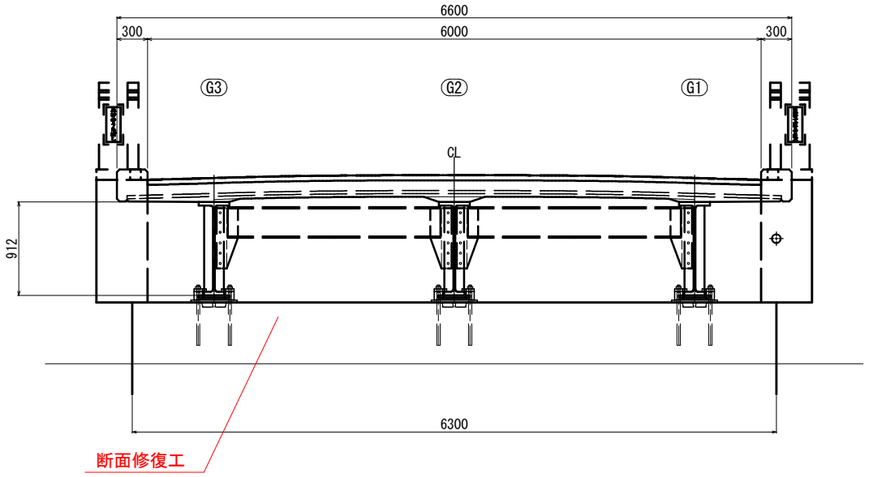
業務名/工事名	平成29年度　竹之内橋補修工事		
路線・河川名等	市道　33号線		
施工箇所名	岐阜県可児市下切地内		
図面の種類	竹 之 内 橋 補修一般図(その1)		
縮　　尺	図　示	図面番号	14 葉之内 4
事 務 所 名	可　児　市		

竹之内橋 補修一般図(その2)

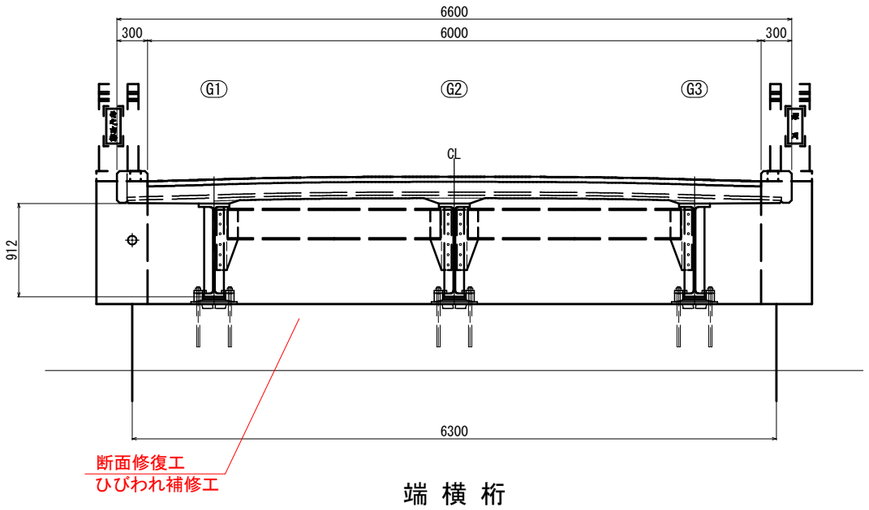
主桁 下面 平面図 S=1/75



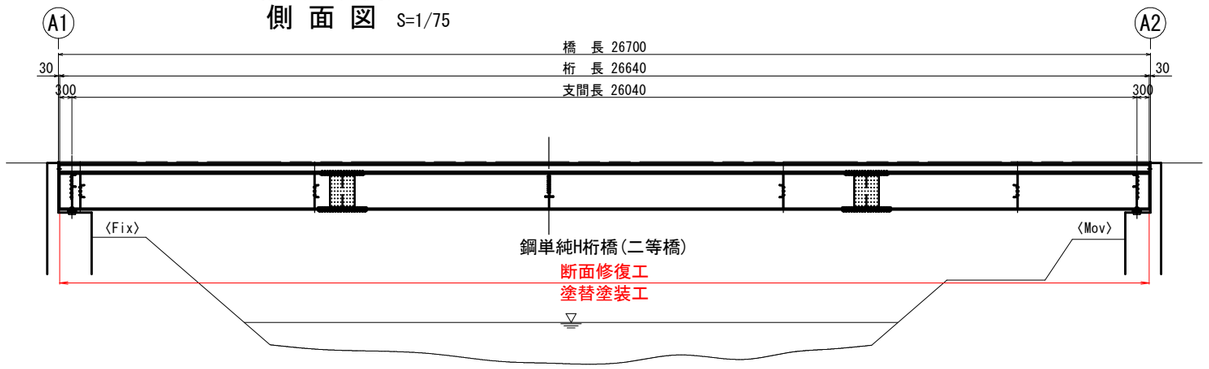
A1橋台〈Fix〉 正面図 S=1/30



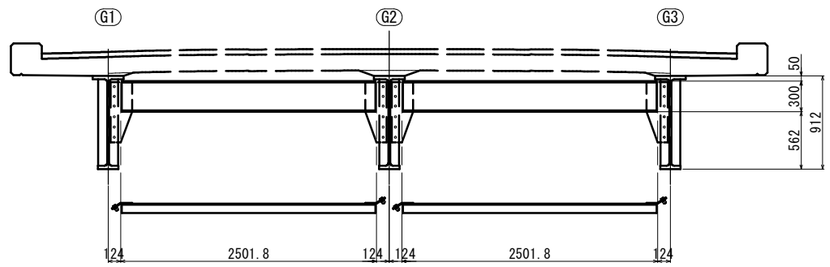
A2橋台〈Mov〉 正面図 S=1/30



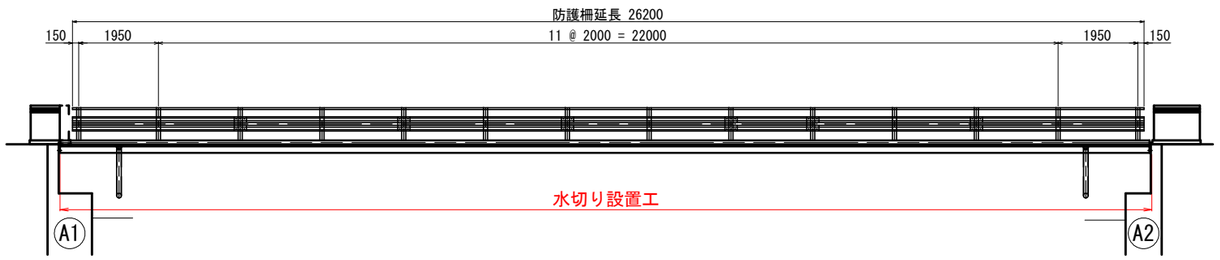
G3桁（下流側） 側面図 S=1/75



端横桁 展開図 S=1/30



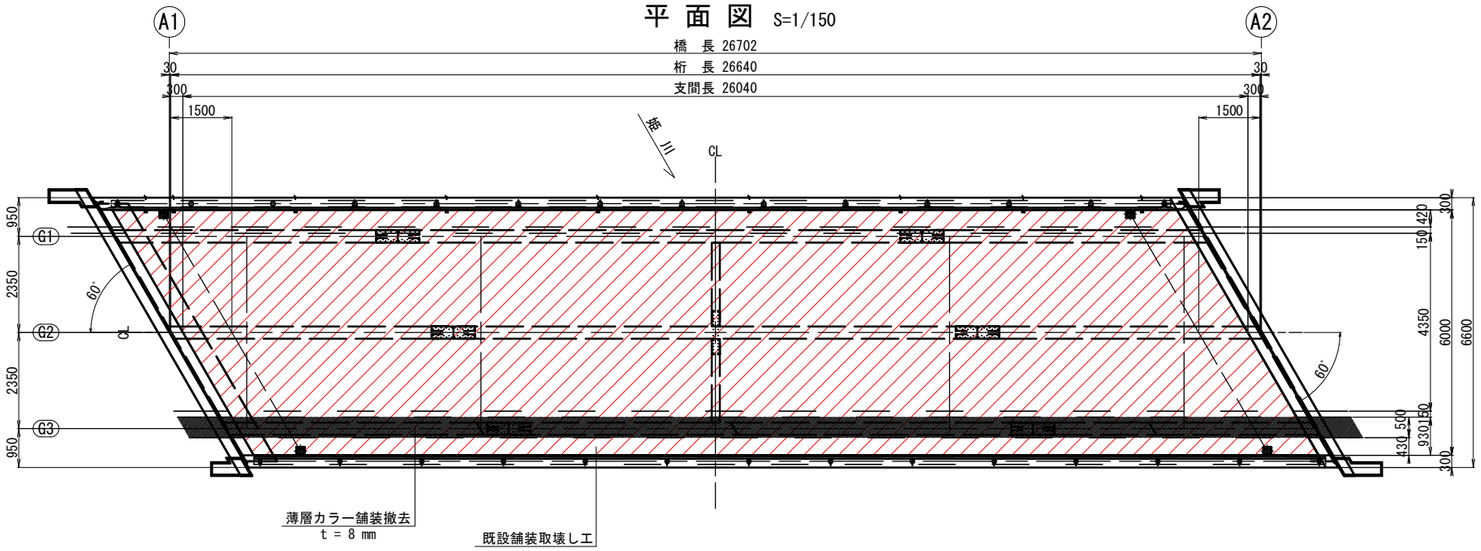
防護柵（下流側） 側面図 S=1/75



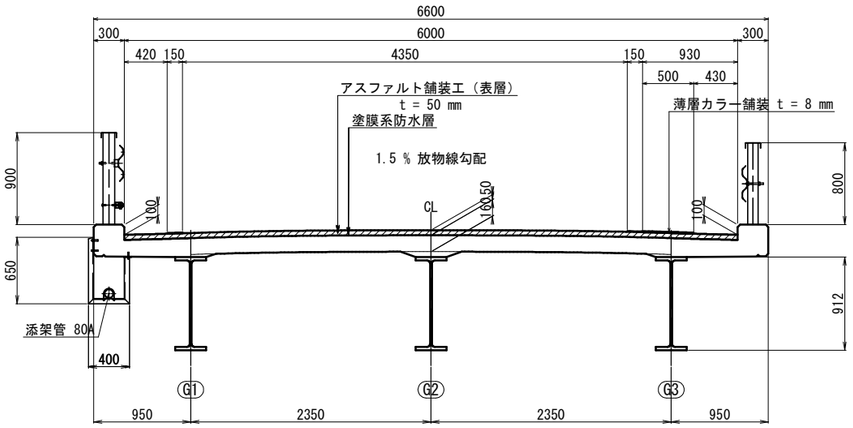
業務名/工事名	平成29年度 竹之内橋補修工事		
路線・河川名等	市道 33号線		
施工箇所名	岐阜県可児市下切地内		
図面の種類	竹 之 内 橋 補修一般図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	14 葉之内 5
事 務 所 名	可 児 市		

竹之内橋 舗装打換え工

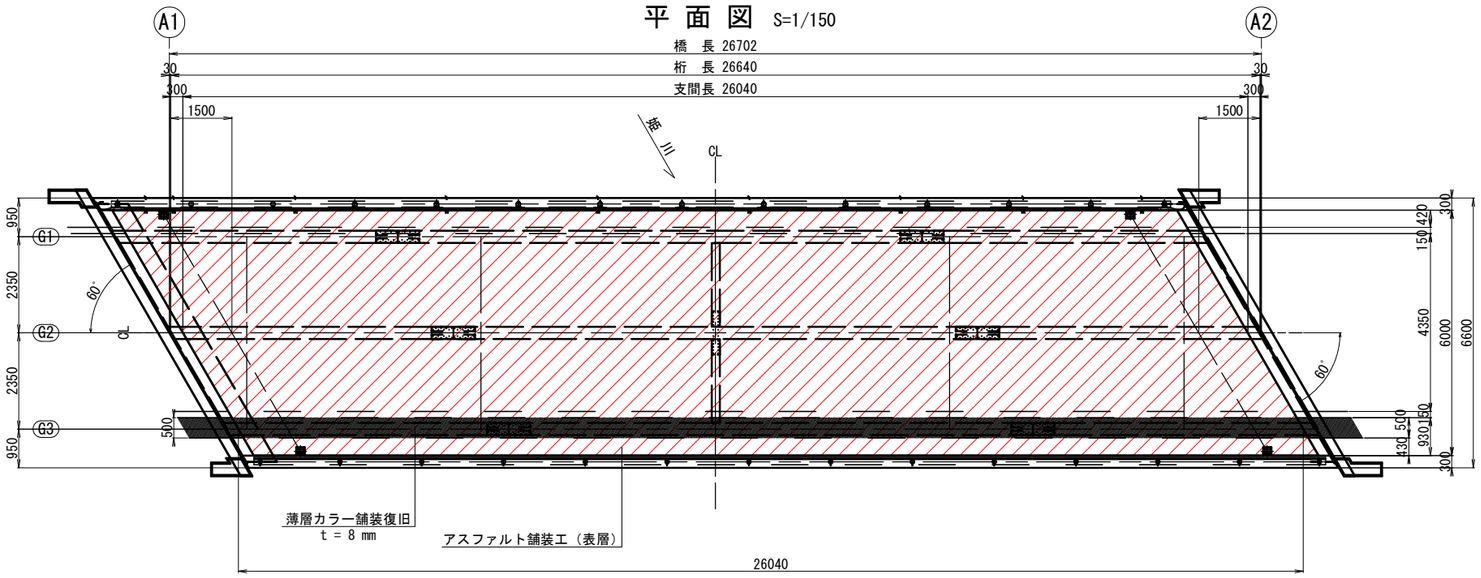
舗装 撤去工
平 面 図 S=1/150



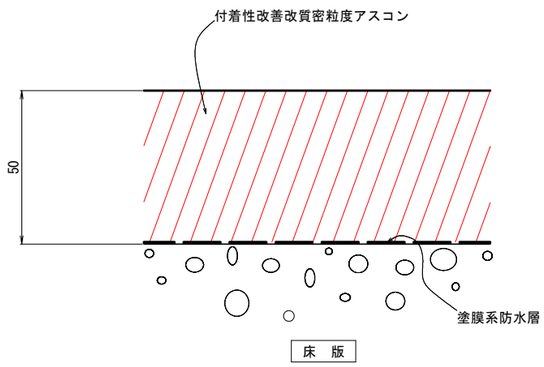
中 間 部
断 面 図 S=1/60



舗装 復旧工
平 面 図 S=1/150



舗装構成図 S=1/1

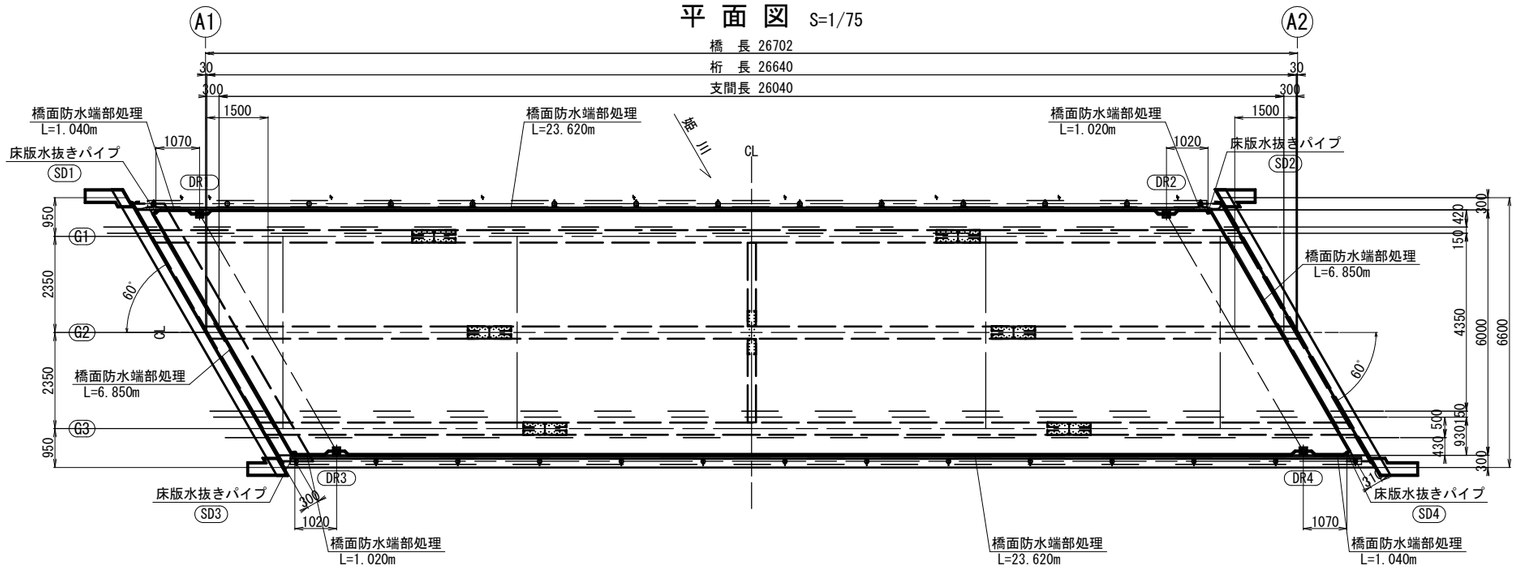


注 記）
1. 製作及び施工に際しては、現場測定を行ない、既設の形状を確認のうえ実施すること。
2. 現地状況に差違が生じた場合は、監督職員の了承を得た上で実施すること。

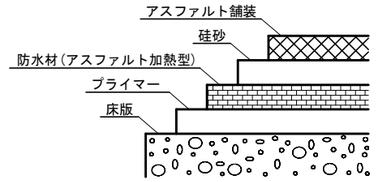
業務名/工事名	平成29年度　竹之内橋補修工事		
路線・河川名等	市道　33号線		
施工箇所名	岐阜県可児市下切地内		
図面の種類	竹 之 内 橋 舗装打換え工		
縮　　尺	図　示	図面番号	14 葉之内 6
事 務 所 名	可　児　市		

竹之内橋 橋面防水工

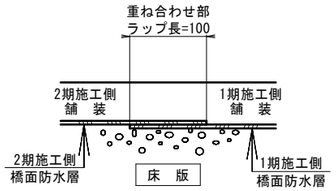
平 面 図 S=1/75



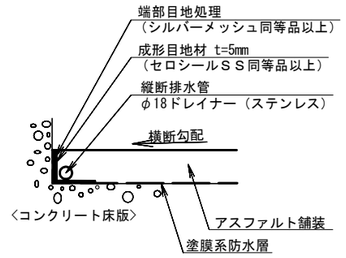
防水層構成図



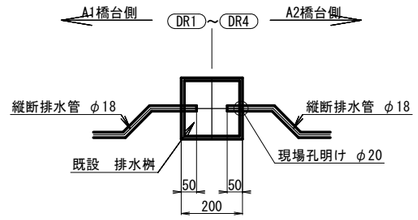
橋面防水 重ね合わせ処理図 S=1/4 (参考図)



橋面防水端部処理 詳 細 図 S=1/10

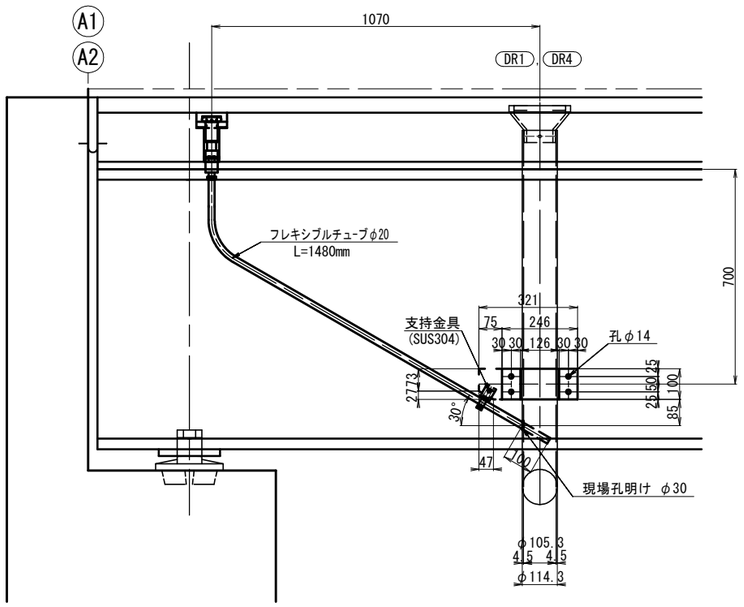


縦断排水管 既設排水桝部 端部処理詳細図 S=1/10

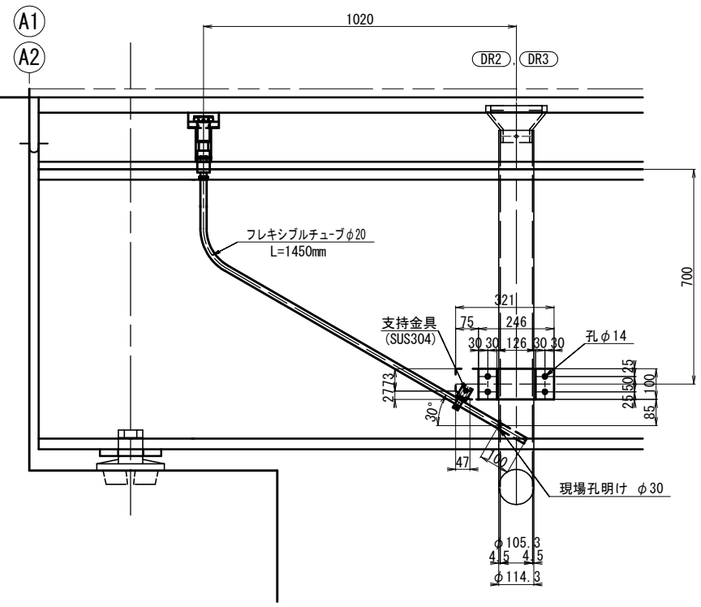


床版水抜きパイプ 取 付 図 S=1/10

A1(G1側), A2(G3側)

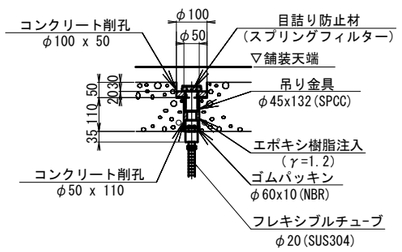


A1(G3側), A2(G1側)

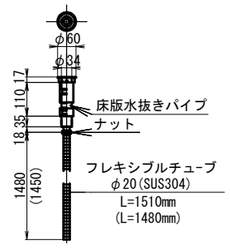


新設 取付金具
1箇所当り材料 計4箇所
1 - FB 100 x 6 x 373 (SS400)
1 - FB 100 x 6 x 298 (SS400)
4 - BN M12 x 40 <2-W付>(SS400)

床版水抜きパイプ 取付詳細図 S=1/10



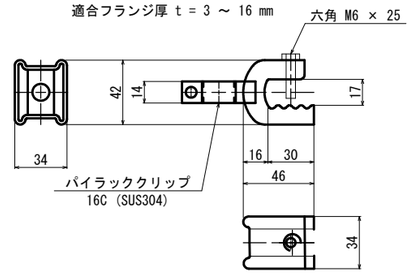
床版水抜きパイプ 詳 細 図 S=1/10



( )内は、A1-G3桁側、A2-G1桁側を示す。

PH1(SUS304)= 4個

適合フランジ厚 t = 3 ～ 16 mm



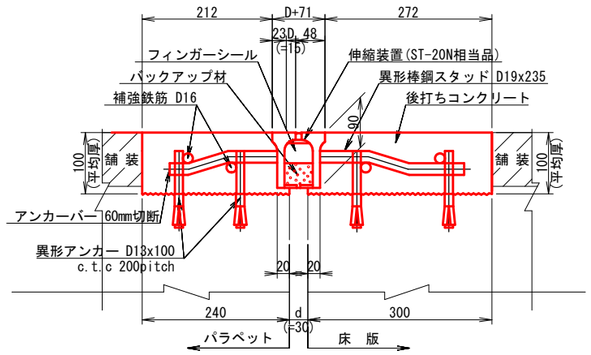
注 記)

1. 製作及び施工に際しては、現場測定を行ない、既設の形状を確認のうえ実施すること。
2. 現地状況に差違が生じた場合は、監督職員の了承を得た上で実施すること。
3. 部材は、溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量はJIS H8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。

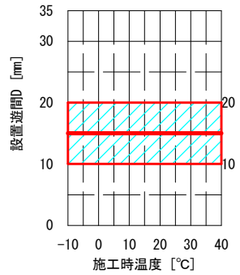
業務名/工事名	平成29年度 竹之内橋補修工事		
路線・河川名等	市道 33号線		
施工箇所名	岐阜県可児市下切地内		
図面の種類	竹 之 内 橋 橋面防水工		
縮 尺	図 示	図面番号	14 葉之内 7
事 務 所 名	可 児 市		

竹之内橋 伸縮装置取替工(その1)

伸縮装置断面図 S=1:5
A1橋台 ST-20N相当品

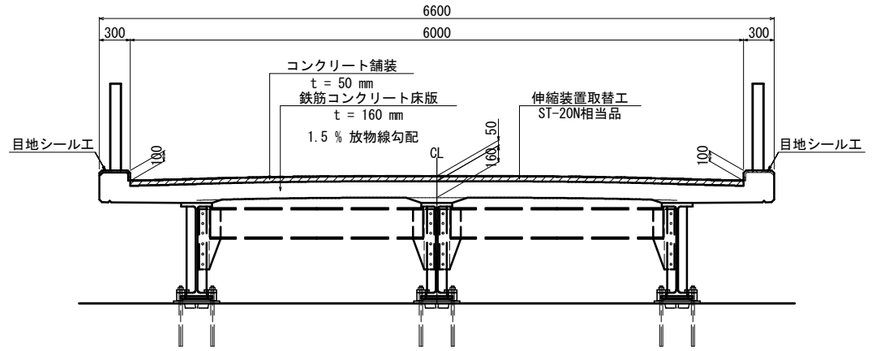


設置遊間表
A1橋台

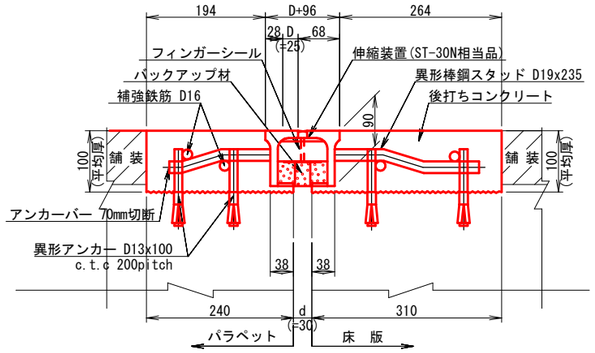


基本伸縮量 : ΔL
ΔL = 0.6 x L
= 0.6 x 0
= 0mm

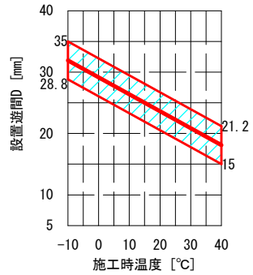
断 面 図 S=1:30
A1橋台



伸縮装置断面図 S=1:5
A2橋台 ST-30N相当品

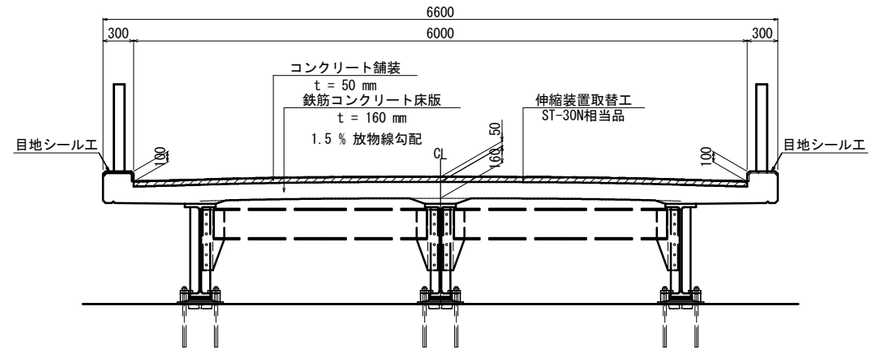


設置遊間表
A2橋台

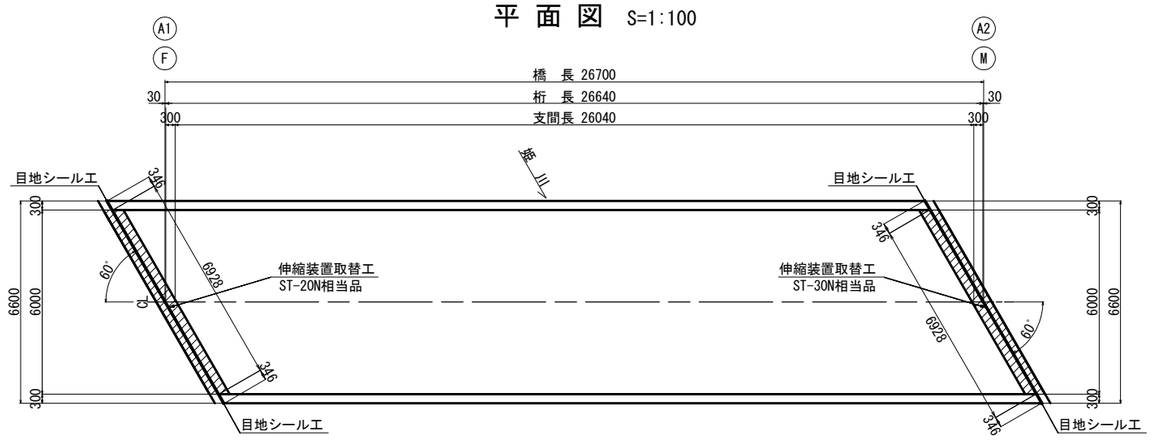


基本伸縮量 : ΔL
ΔL = 0.6 x L
= 0.6 x 26.64 x sin60°
= 13.8mm

断 面 図 S=1:30
A2橋台



平 面 図 S=1:100



注 記

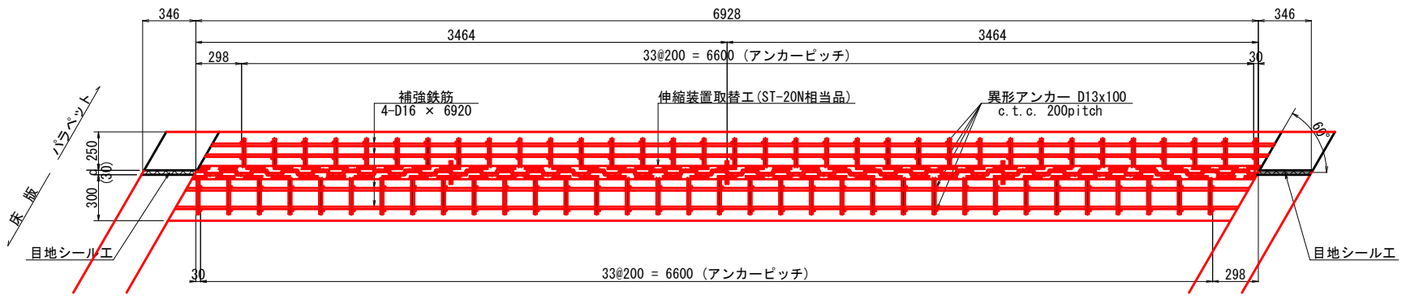
1. ジョイントセット遊間Dは施工時の温度及び床版遊間dにより調整すること。
2. 既設ジョイント撤去時パラペット及び床版の脆弱な箇所は全て斫りとること。
3. 床版遊間は現地調査の上調整すること。
4. ジョイントの裏込幅及びパラペット幅は現地調査の上調整すること。

業務名/工事名	平成29年度 竹之内橋補修工事		
路線・河川名等	市道 33号線		
施工箇所名	岐阜県可児市下切地内		
図面の種類	竹 之 内 橋 伸縮装置取替工(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	14 葉之内 8
事 務 所 名	可 児 市		

竹之内橋 伸縮装置取替工(その2)

平 面 図 S=1:20

A1橋台



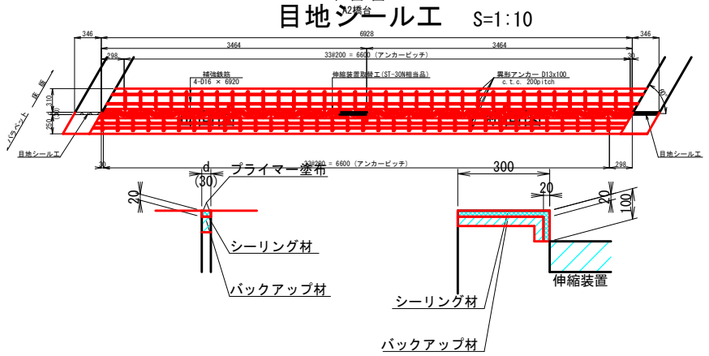
材料表

材 料 名	規格・仕様	単位	A1橋台	A2橋台	合 計	摘 要
伸縮装置取替工施工延長		m	6.928	6.928	13.856	
ジョイント本体	ST-20N相当品	m	6.92		6.92	
	ST-30N相当品	m		6.92	6.92	
後打ちコンクリート		m3	0.3	0.3	0.6	
鉄筋	SD345 D16	kg	43	43	86	
異形アンカー	D13x100 c.t.c.200pitch	本	136	136	272	
目地シール工施工延長		m	0.892	0.892	1.784	
プライマー	シリコーン樹脂用	g	7	7	14	
シーリング材	シリコーン樹脂	L	0.54	0.54	1.07	
バックアップ材		m	0.892	0.892	1.784	

平 面 図 S=1:20

A2橋台

目地シール工 S=1:10



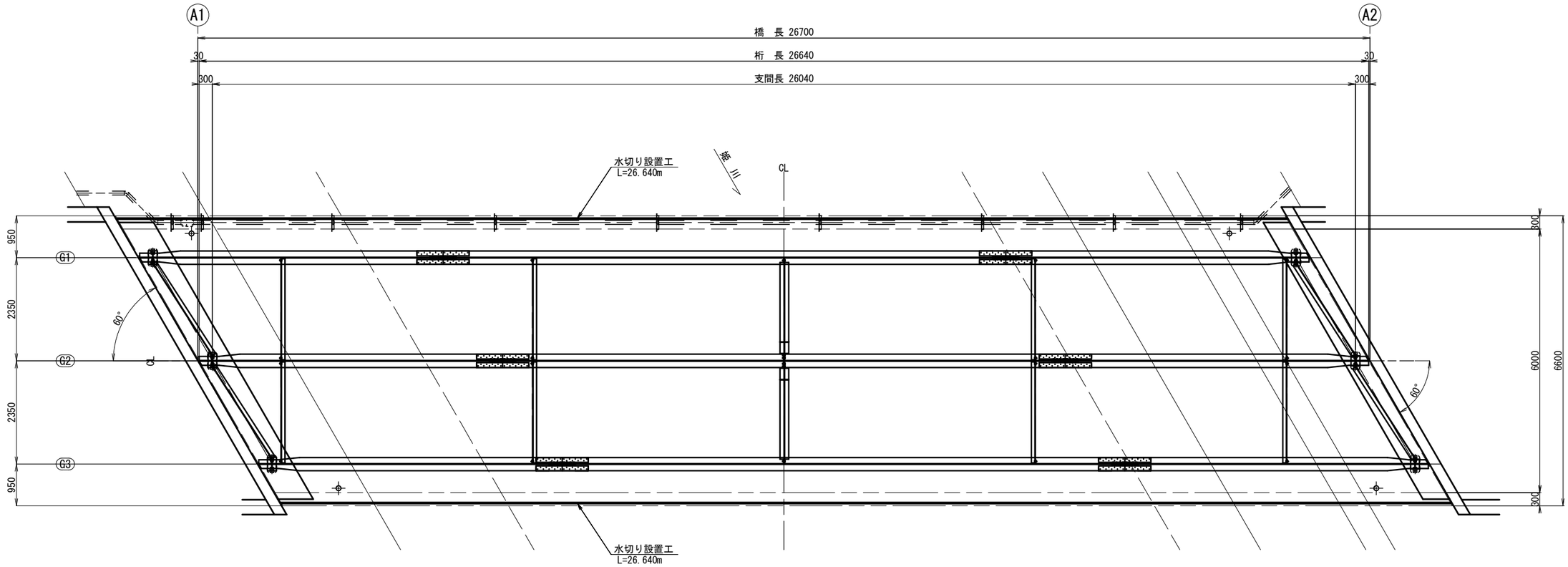
注 記

1. ジョイントセット遊間Dは施工時の温度及び床版遊間dにより調整すること。
2. 既設ジョイント撤去時パラペット及び床版の脆弱な箇所は全て斫りとること。
3. 床版遊間は現地調査の上調整すること。
4. ジョイントの裏込幅及びパラペット幅は現地調査の上調整すること。

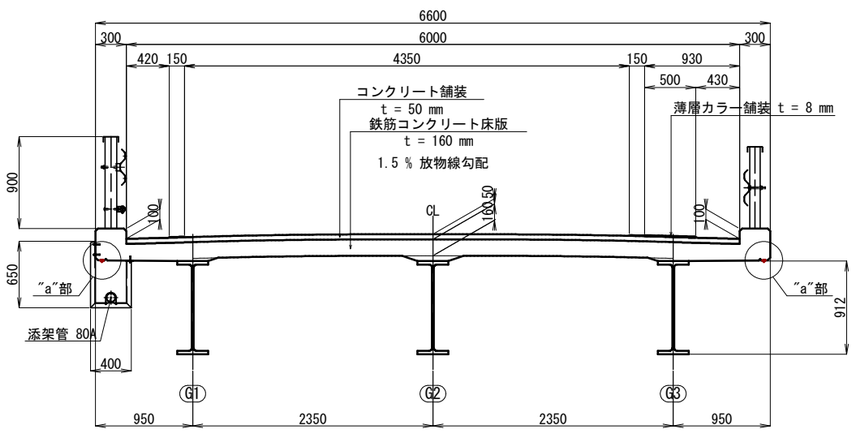
業務名/工事名	平成29年度 竹之内橋補修工事		
路線・河川名等	市道 33号線		
施工箇所名	岐阜県可児市下切地内		
図面の種類	竹 之 内 橋 伸縮装置取替工(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	14 葉之内 9
事 務 所 名	可 児 市		

竹之内橋 水切り設置工

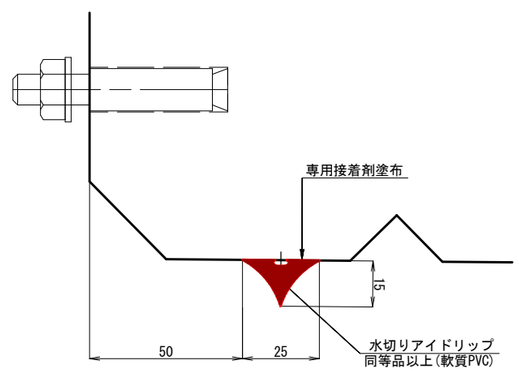
平 面 図 S=1/100



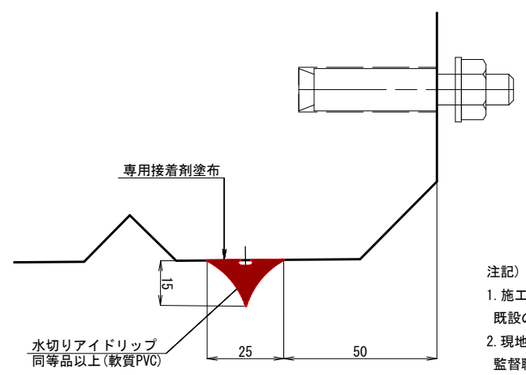
中 間 部 断 面 図 S=1/60



a部詳細 S=1/1



b部詳細 S=1/1



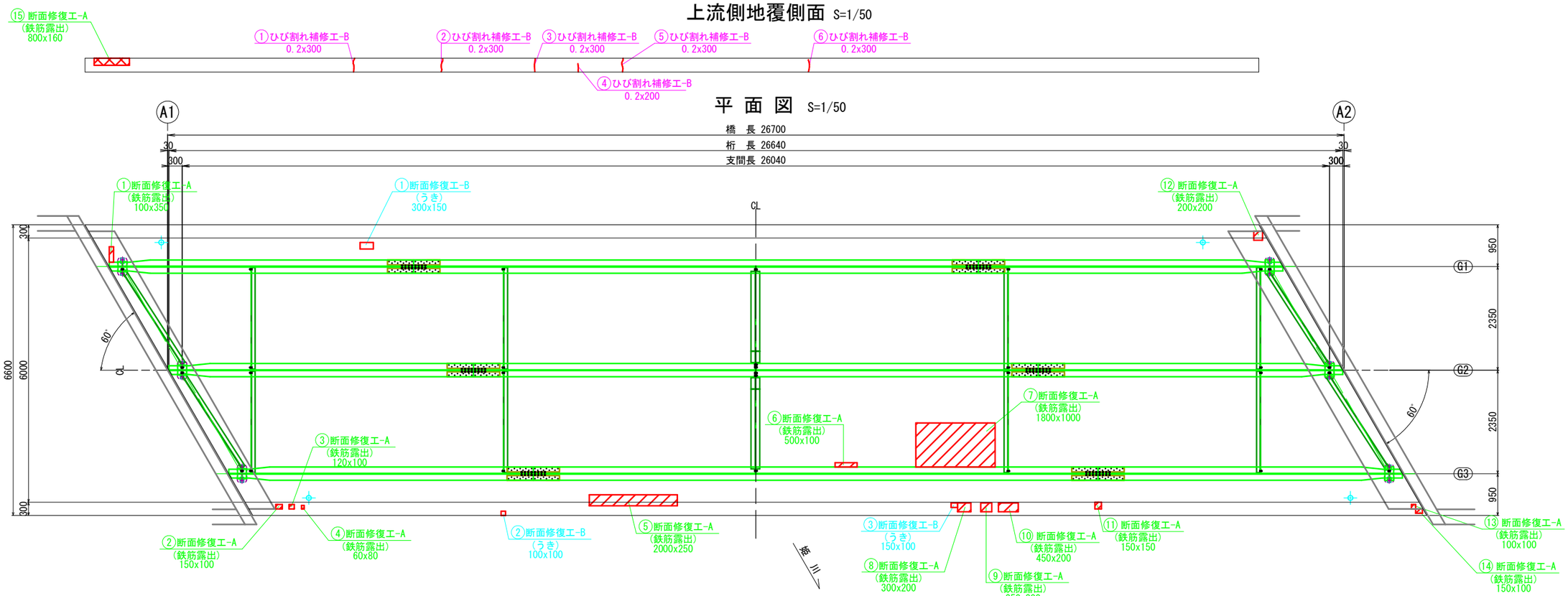
注記)
1. 施工に際しては、現場計測を行い、
既設の形状を確認の上で実施すること。
2. 現地状況に差違が生じた場合は、
監督職員の了承を得た上で実施すること。

業務名/工事名	平成29年度 竹之内橋補修工事		
路線・河川名等	市道 33号線		
施工箇所名	岐阜県可児市下切地内		
図面の種類	竹 之 内 橋 水切り設置工		
縮 尺	図 示	図面番号	14 葉之内 10
事 務 所 名	可 児 市		

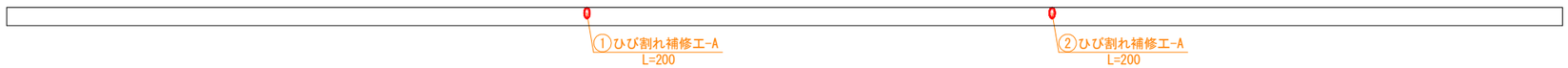
竹之内橋 橋梁補修工(その1)

(断面修復工・ひび割れ補修工)

上流側地覆側面 S=1/50

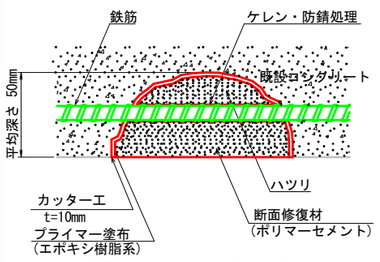


下流側地覆側面 S=1/50



断面修復工詳細図

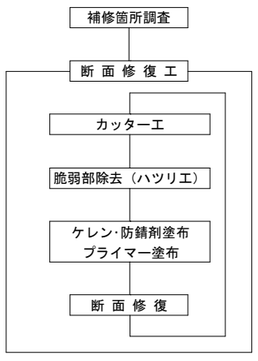
type-A (鉄筋露出)



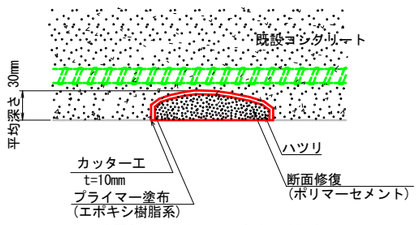
※脆弱部のコンクリートをはつり取る。

〔施工手順〕

鉄筋露出施工手順



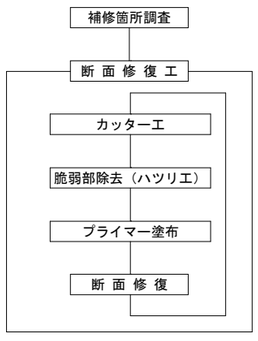
type-B (コンクリート剥離、うき)



※脆弱部のコンクリートをはつり取る。

〔施工手順〕

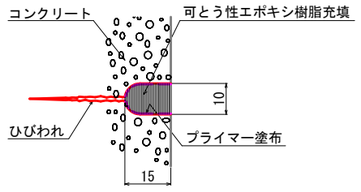
コンクリート剥離、うき 施工手順



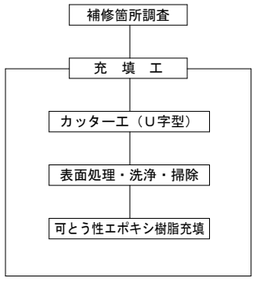
ひび割れ補修工 詳細図

type-A

Uカット充填工法(可とう性エポキシ樹脂)



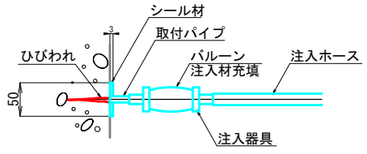
施工手順



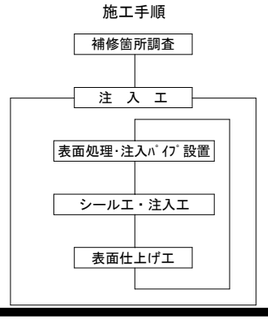
ひび割れ補修工詳細図

type-B

低圧注入工法(エポキシ樹脂)



施工手順



注 記)

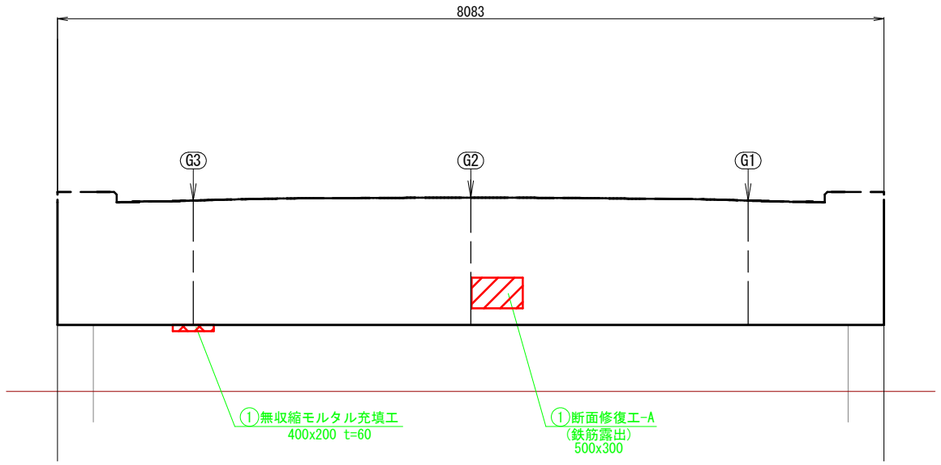
1. 製作及び施工に際しては、現場測定を行ない、既設の形状を確認のうえ実施すること。
2. 現地状況に差違が生じた場合は、監督職員の了承を得た上で実施すること。

業務名/工事名	平成29年度 竹之内橋補修工事		
路線・河川名等	市道 33号線		
施工箇所名	岐阜県可児市下切地内		
図面の種類	竹 之 内 橋 橋梁補修工(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	14 葉之内 11
事 務 所 名	可 児 市		

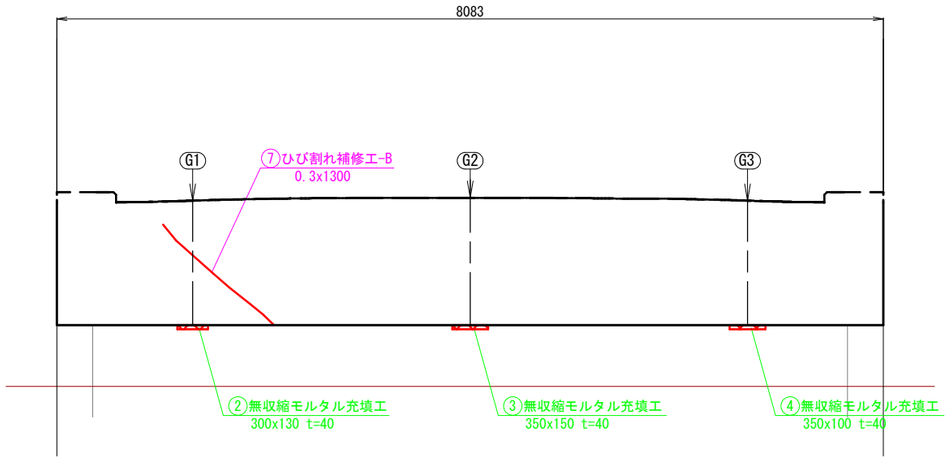
竹之内橋 橋梁補修工(その2)

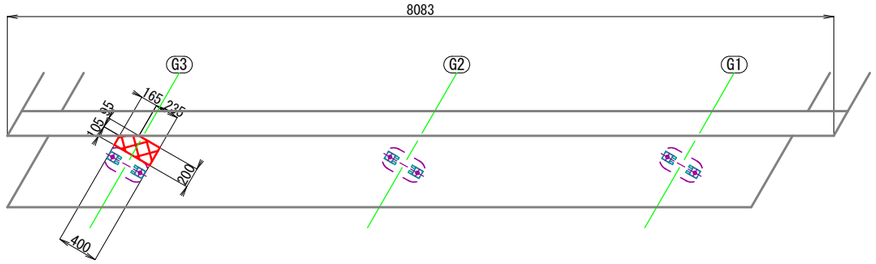
(断面修復工・ひび割れ補修工)

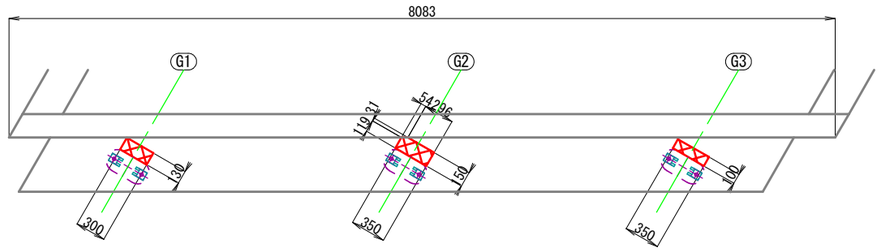
A1橋台 S=1/30



A2橋台 S=1/30

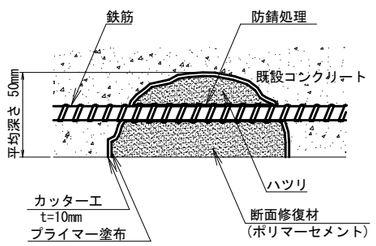






断面修復工詳細図

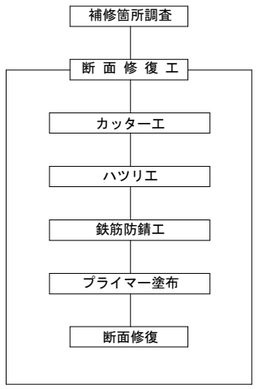
type-A
(鉄筋露出)



※はつりにより鉄筋が露出した場合は鉄筋防錆工を実施

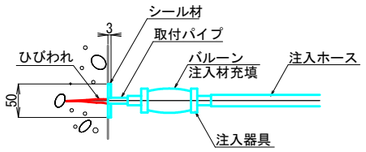
〔施工手順〕

鉄筋露出施工手順

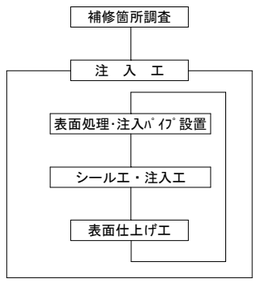


ひび割れ補修工詳細図
type-B

低圧注入工法(エポキシ樹脂)



施工手順



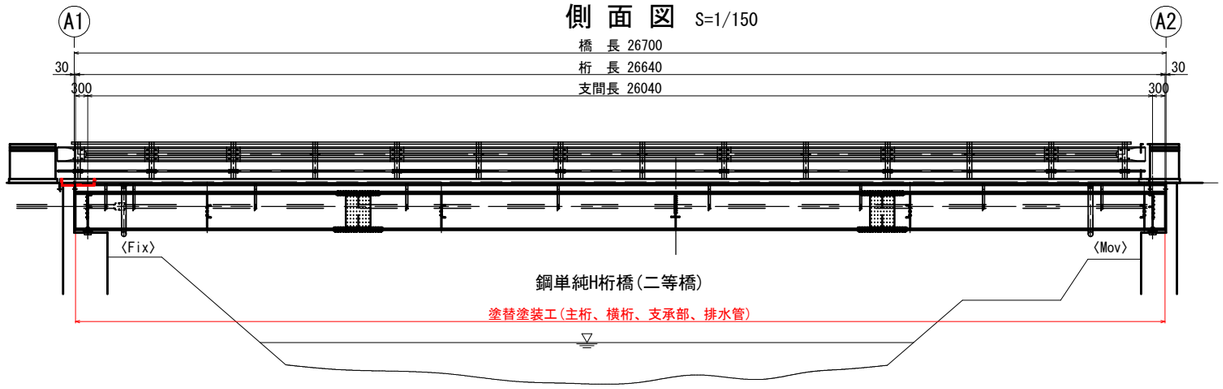
注 記)

1. 製作及び施工に際しては、現場測定を行ない、既設の形状を確認のうえ実施すること。
2. 現地状況に差違が生じた場合は、監督職員の了承を得た上で実施すること。

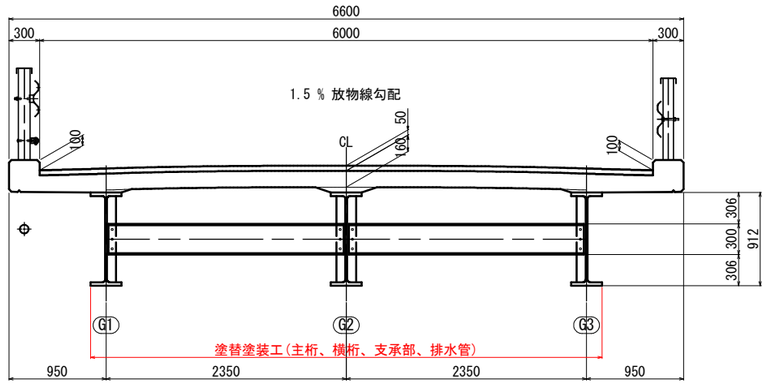
業務名/工事名	平成28年度 竹之内橋補修工事		
路線・河川名等	市道 33号線		
施工箇所名	岐阜県可児市下切地内		
図面の種類	竹 之 内 橋 橋梁補修工(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	14 葉之内 12
事 務 所 名	可 児 市		

竹之内橋 塗替塗装工

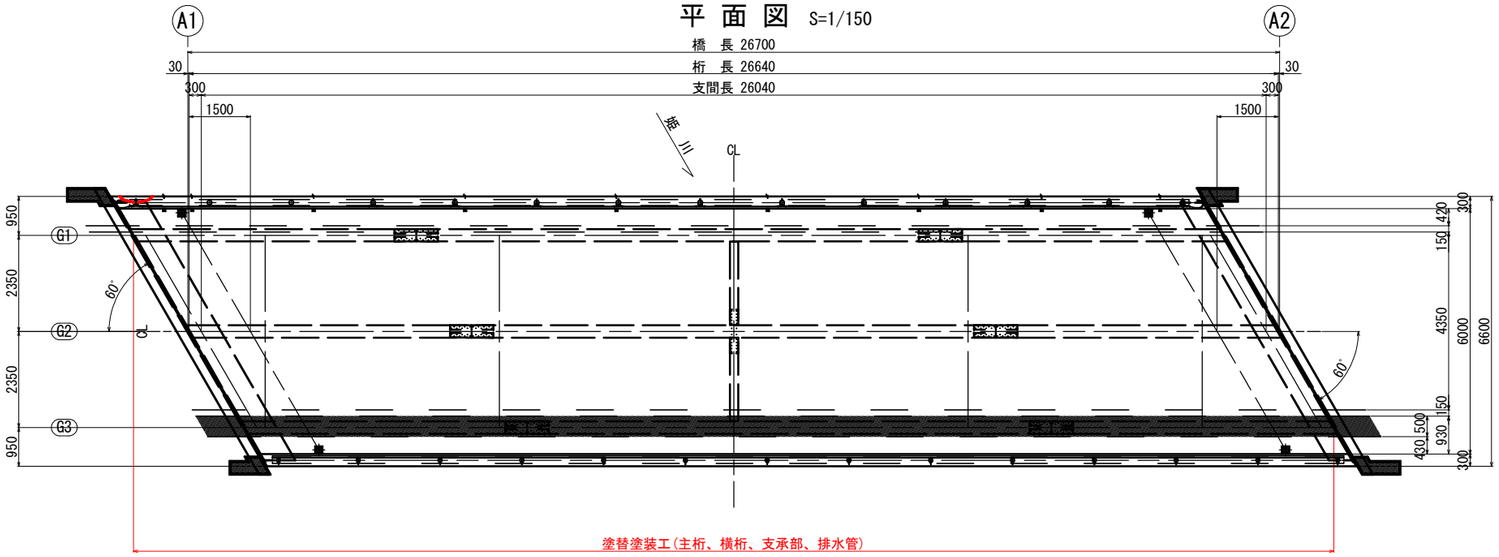
側 面 図 S=1/150



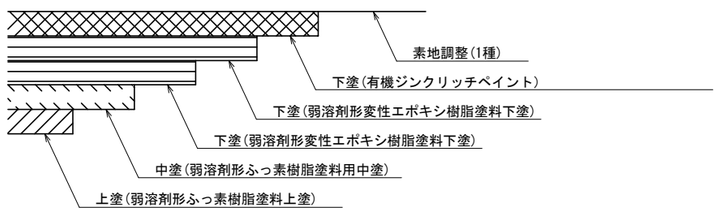
断 面 図 S=1/60



平 面 図 S=1/150



塗 装 工 程 図



塗装仕様(Rc-Ⅰ)(はけ・ローラー)

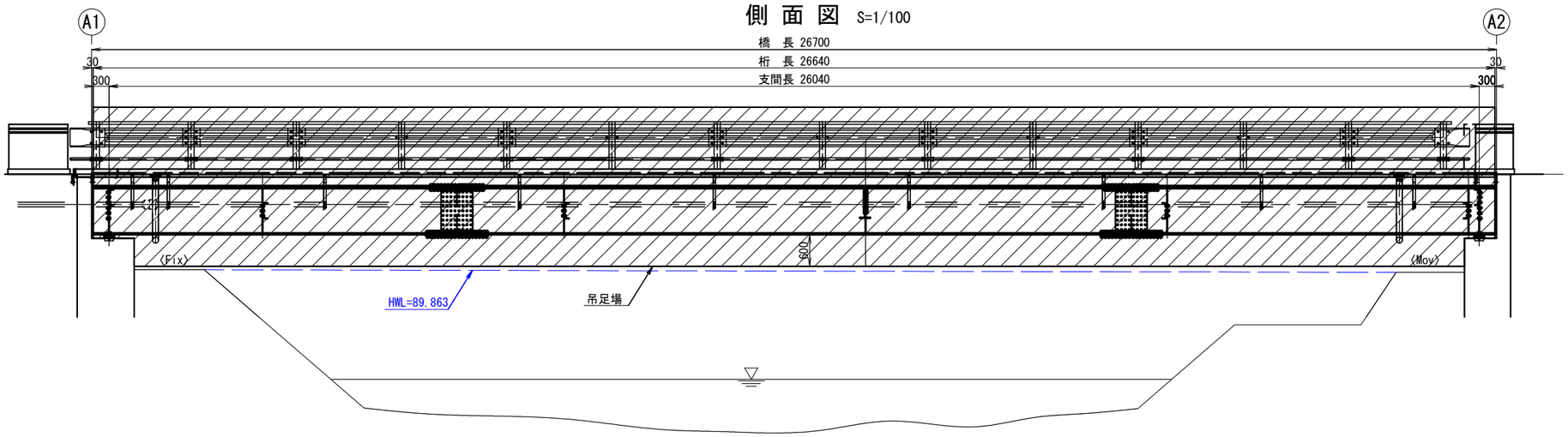
塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m2)
素地調整	1種	
下 塗	有機ジンクリッチペイント	(600)
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140

注記)
1. 施工に際しては、現場計測を行い、既設の形状を確認の上で実施すること。
2. 現地状況に差違が生じた場合は、監督職員の了承を得た上で実施すること。

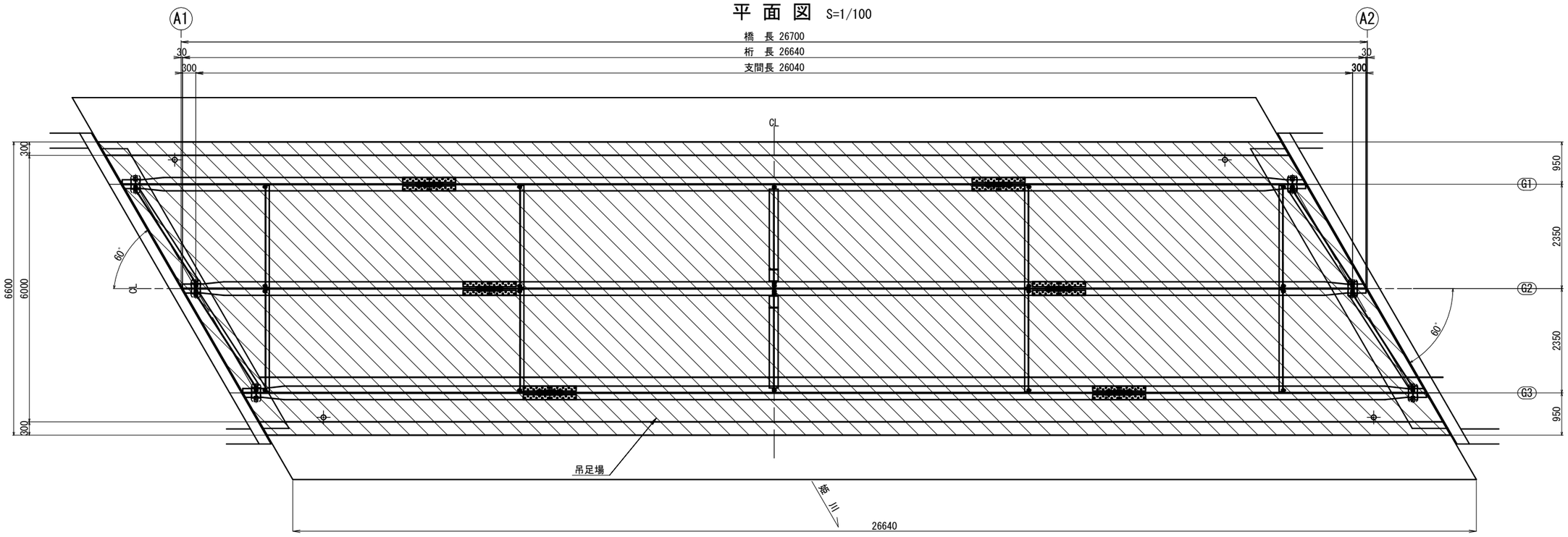
業務名/工事名	平成29年度 竹之内橋補修工事		
路線・河川名等	市道 33号線		
施工箇所名	岐阜県可児市下切地内		
図面の種類	竹 之 内 橋 塗替塗装工		
縮 尺	図 示	図面番号	14 葉之内 13
事 務 所 名	可 児 市		

竹之内橋 足場図(参考図)

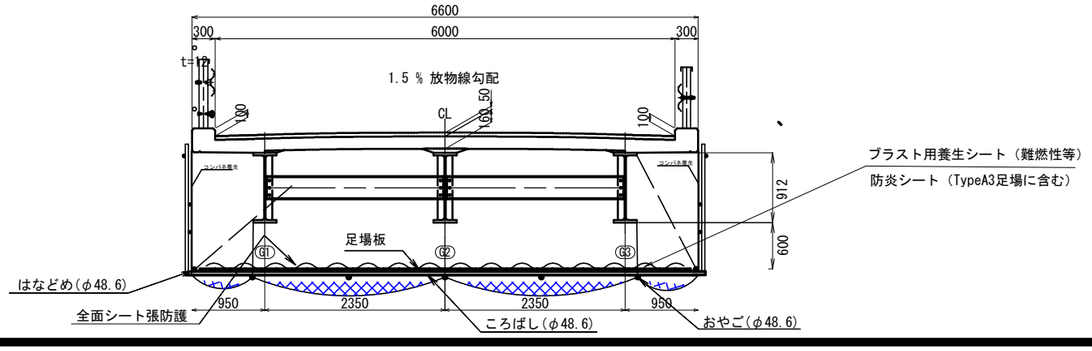
側 面 図 S=1/100



平 面 図 S=1/100



断 面 図 S=1/80



注記）
1. 施工に際しては、現場計測を行い、
既設の形状を確認の上で実施すること。
2. 現地状況に差違が生じた場合は、
監督職員の了承を得た上で実施すること。

業務名/工事名	平成29年度　竹之内橋補修工事		
路線・河川名等	市道　33号線		
施工箇所名	岐阜県可児市下切地内		
図面の種類	竹 之 内 橋 足場図(参考図)		
縮　　尺	図　示	図面番号	14 葉之内 14
事 務 所 名	可　児　市		